Canon

PUB. DIJ-0468-000A

XA11
XA15

HDビデオカメラ

使用説明書

本機の特長

高画質HD記録システム

291万画素、1/2.84型HD CMOS PROと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 4」を搭載

有効画素数約291万画素（2136×1362）の1/2.84型単板式CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 4」を搭載。防振機能や低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

高画質ワイドズームレンズ

コンパクト光学20倍ズームレンズを搭載。35mm換算でワイド26.8㎜ *からと多様な撮影シーンに応えます。

* 手ブレ補正の「ダイナミック」使用時は、28.8mmになります。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

業務用ハンドヘルドカメラとして、高性能を小型、軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

選べる撮影スタイル、優れた収納性

撮影シーンに合わせてスタイルが選べる、着脱式ハンドルを付属。装着することで、INPUT端子（マイクのバランス入力）やマイクホルダーなど、オーディオ仕様も拡張できます。

作品づくりに集中できる優れたマニュアル操作性

フォーカスとズームを切り換えできるフォーカス／ズームリングを搭載。よく使う機能を割り当てることができるカスタムボタンとカスタムキー、5個のアサインボタンを搭載することで、操作性が向上しました。

夜間での撮影に威力を発揮する赤外撮影機能

スイッチの切り換えで素早い赤外撮影が可能。さらに、付属のハンドルを取り付けることで、夜間の動物の生態撮影などに効果的な赤外ライトを使って撮影できます。

多彩な動画形式で、長時間撮影と安心バックアップ機能

AVCHDとMP4の動画形式に対応。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます*。

* 同時記録は、同じ形式または異なる形式でカードに記録することができます。

液晶モニターとビューファインダー

静電容量方式タッチパネルの液晶モニターを搭載。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現しています。また、ビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができますので、ローアングル時の操作性を向上させています。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能（🕮 47、102）

スロー＆ファストモーション記録*1では、倍速を変更することにより、最低0.5倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影ができます*2。プレ記録では撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

*1 MP4形式動画のみ

*2「フレームレート」を「29.97P」に設定しているとき

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現するピクチャー設定（🕮 77）

多彩なピクチャー設定を搭載。ルックの設定や、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさなどを調整して画質調整が可能です。ルックの「Wide DR」では、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現。また、ルックの「高輝度優先」を使って撮影すると、高輝度領域を圧縮しないため、白トビを抑え、自然な階調で撮影します。再生時、外部モニターを明るく設定することで、より高精細な映像を楽しむことができます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 正確な残量を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- 撮影状況によって、4種類の手ブレ補正を自動で切り換えるマルチシーンIS。
- 横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。

  * 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する 10
各部の名称 11
　本体の名称 11
　ハンドルユニットHDU-1の名称 15

準　備

バッテリーを充電する 18
　フェライトコアを取り付ける 18
　バッテリーを充電する 18
カメラを準備する 21
　ハンドルユニットを取り付ける 21
　レンズフードとレンズキャップについて 22
　ビューファインダーの視度を調整する 23
　液晶モニターを使う 24
　グリップベルトを調節する 25
　ストラップを取り付ける 25
カメラを操作する 26
　電源を入れる／切る 26
　カメラモードを切り換える 26
　タッチパネルで操作する 27
　FUNC.（ファンクション）ボタン／ジョイスティックで操作する 28
日付／時刻を合わせる 29
メニューの設定を変える 30
カードを準備する 32
　使用可能なSDカード 32
　カードを入れる 33
カードを初期化する 34
記録先を選ぶ 35
動画形式を選ぶ 36

撮　影

動画や静止画を撮影する 38
　撮影する 38
　M（マニュアル）モードで撮影する 41
　いま撮ったシーンを確認する（レックレビュー） 42
画質を選ぶ 43
記録方法を選ぶ 45
映像のなめらかさを選ぶ 46
スロー＆ファストモーション記録を行う 47
映画のように撮る 48
ピントを合わせる 50
　MF（マニュアルフォーカス）で調整する 50
　フォーカスプリセットを使う 51
　ピントの合った被写体の輪郭に色をつける（ピーキング） 52
　AF（オートフォーカス）で調整する 53
　顔を検出してAFやAEを合わせる（フェイスキャッチ&追尾） 55
拡大して撮る 57
　フォーカス／ズームリングで操作する 57
　グリップズームレバーで操作する 57
　ハンドルズームレバーで操作する 60

ズーム画面で操作する.....61
ズームの操作を滑らかにする（ソフトズームコントロール）.....62
デジタルテレコンを使う.....63
手ブレをおさえて撮る.....64
AGCリミットを調整する.....65
動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る.....66
明るさを調整する.....68
しぼり、シャッタースピード、ゲインを手動で調整する（マニュアル露出）.....68
ゼブラパターンを使う.....69
露出を調整する.....70
明るい部分にタッチして明るさを補正する（ハイライトAE）.....71
強制逆光補正.....72
色合いを調整する.....73
場面や目的に合わせて撮る.....75
好みの画質にする.....77
タイムコードを設定する.....79
カウントアップ方式を選ぶ.....79
ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える.....80
ユーザービットを設定する.....81
任意の16進数を設定する.....81
時刻または日付を設定する.....81
音声を記録する.....82
記録音声と必要な設定.....83
外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する.....84
外部マイク（INPUT端子）／外部ライン入力（INPUT端子）の音声を選択する.....85
外部マイク（INPUT端子）の録音レベルを調整する.....86
内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の音声を選択する.....88
場面に合わせて内蔵マイクの音質を選択する（オーディオシーン）.....90
内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の録音レベルを調整する.....92
ヘッドホンを使う.....98
ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する.....98
再生中にヘッドホン音量を調整する.....98
カラーバー／テストトーンを記録する.....99
カラーバーを記録する.....99
テストトーンを記録する.....100
ビデオスナップを撮る.....101
撮影チャンスを逃さない.....102
画面の表示を切り換える.....103
表示される内容や切り換わりかた.....103
赤外撮影（INFRARED）を行う.....104
GPSレシーバー GP-E2を使う.....105
GPSレシーバーを接続する.....105
GPSを有効にする.....105

カスタマイズ

よく使う機能を設定する.....108
機能を割り当てる.....108
アサインボタンの機能を変更する.....110
機能を変更する.....111
アサインボタンを使う.....111
メニューデータの保存と読み出し.....112

メニューデータをカードBに
保存する.....112
メニューデータをカードから
読み込む.....113

再生／編集

シーンを再生する.....116
再生する.....116
映像を写真として切りとる
（あとからフォト）.....119
シーンを消す.....120
ある日のシーン、選んだシーン、
すべてのシーンをまとめて消す.....120
再生一時停止中のシーンを消す.....121
シーンを分割する.....122
シーンを切りとる.....123

接　続

外部モニターを接続する.....126
接続のしかた.....126
XA15出力端子を選択する.....127
XA15HD/SD-SDI端子を使用する.....127
HDMI OUT端子を使用する.....128
AV OUT端子を使用する.....128
音声出力を選択する.....129
映像と音声のタイミングを選ぶ
（モニターディレイ）.....129
音声出力チャンネルを選ぶ.....130

静止画

写真を見る.....132
再生中に他の静止画にジャンプする
（静止画ジャンプ）.....133
インデックス画面を出す.....133
写真を消す.....134
再生中の静止画を消す.....134
ある日の静止画、選んだ静止画、
すべての静止画をまとめて消す.....134

撮影データの保存／共有

シーンをパソコンに保存する.....138
ビデオ／写真をカードにコピーする.....140
動画をコピーする.....140
静止画をコピーする.....141
MP4形式の動画に変換する.....143
BDレコーダーなどにダビングする.....145
ハイビジョン画質のまま
ダビングする.....145
標準画質に変換してダビングする.....146

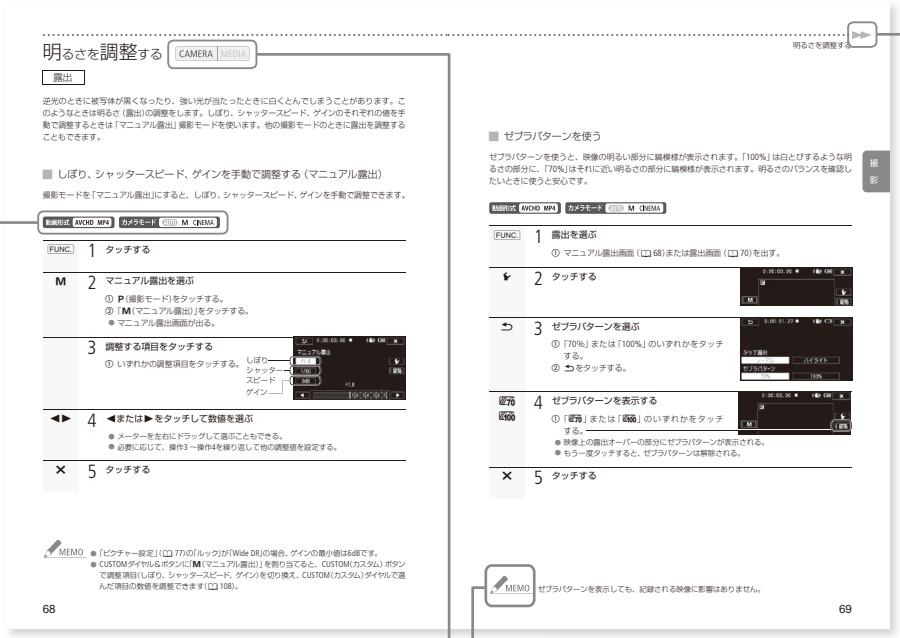
メニュー

FUNC.メニューの紹介.....148
撮影時に使う「FUNC.メニュー」.....148
再生時に使う「FUNC.メニュー」.....149
メニューの紹介.....150

その他

画面の見かた 162
　撮影時の画面表示 162
　再生時の画面表示 164
トラブルシューティング 165
　まずココを確認しよう！ 165
　電源 165
　撮影中 166
　再生中 167
　表示やランプ 167
　画面や音 168
　アクセサリー 169
　他機 169
メッセージが出たら？ 170
安全上のご注意 174
取り扱い上のご注意 176
　ビデオカメラ本体 176
　バッテリー 177
　カード 178
　充電式内蔵電池 178
　その他のご注意 179
日常のお手入れ 180
海外で使う 181
　充電する 181
　テレビで見る 181
　旅行先の日時に合わせる 182
アクセサリー紹介 183
主な仕様 185
　XA11 / XA15 185
　付属品 187
　動画の記録可能時間の目安 188
　静止画の記録可能枚数の目安 189
　バッテリーの充電時間の目安 189
　バッテリーの使用時間の目安 190
　Full HD 1080について 192
索引 193
修理対応について 197

本書の読みかた



電源スイッチの位置を示すマーク

CAMERA MEDIA CAMERAにする
CAMERA MEDIA MEDIAにする
CAMERA MEDIA CAMERAかMEDIAにする

モードスイッチやボタンの状態を示すマーク

動画形式 AVCHD MP4

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示すマーク。

カメラモード AUTO M CINEMA

撮影時に選択するモード。**AUTO**（オート）、**M**（マニュアル）、**CINEMA**（シネマ）がある。

コラムのマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

POINT 知っていると便利なこと

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーまたは液晶モニターの画面のこと
カード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと

- 本書で使用している画面やイラストはXA15です。イラストは付属のハンドルユニットを取り付けた状態です。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1 はじめに

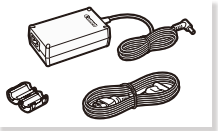
商品を確認する 10
各部の名称 11

商品を確認する

XA11 / XA15には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



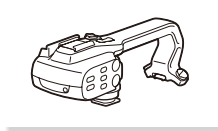
ビデオカメラ本体



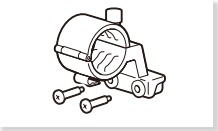
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）CA-570



バッテリーパック BP-820



ハンドルユニット HDU-1



マイクホルダー



バリア付きレンズフード



レンズキャップ



クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（🕮 165）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやSDカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ACCESS（アクセス）ランプについて

ACCESSランプ（🕮 14）が赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- カードカバーを開けない。
- カメラモード切り換えスイッチを切り換えない。
- メディアモードに切り換えない。
- 本体にUSBケーブルをつないでいるときは、USBケーブルを抜かない。

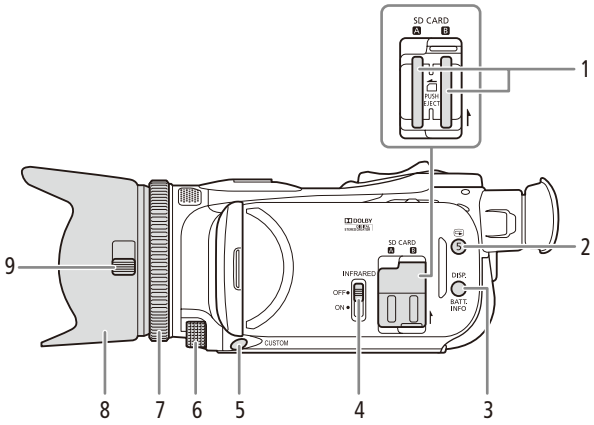
液晶モニターやビューファインダーの画面について

液晶モニターやビューファインダーの画面は非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに常時点灯する画素や点灯しない画素が発生することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶🕮に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



1 カードスロット　A / B ▶▶ 🕮 33

2 ⏪（レックレビュー）／アサイン5ボタン ▶▶ 🕮 42

3 DISP.（ディスプレイ）▶▶ 🕮 103 ／ BATT. INFO（バッテリー情報）ボタン ▶▶ 🕮 20

4 INFRARED（赤外撮影）切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 104

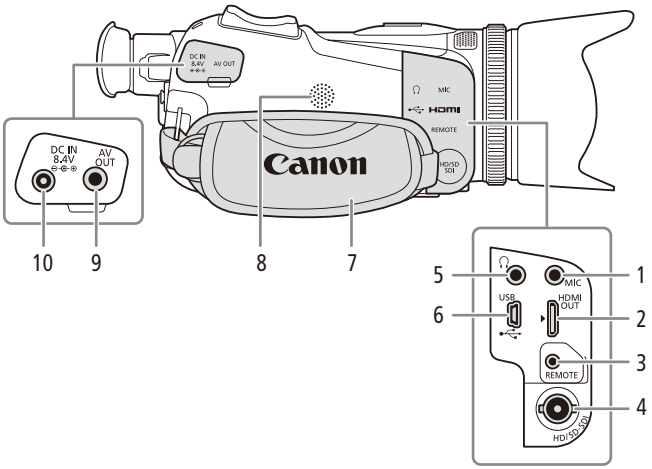
5 CUSTOM（カスタム）ボタン ▶▶ 🕮 108

6 CUSTOM（カスタム）ダイヤル ▶▶ 🕮 108

7 フォーカス／ズームリング ▶▶ 🕮 50、57

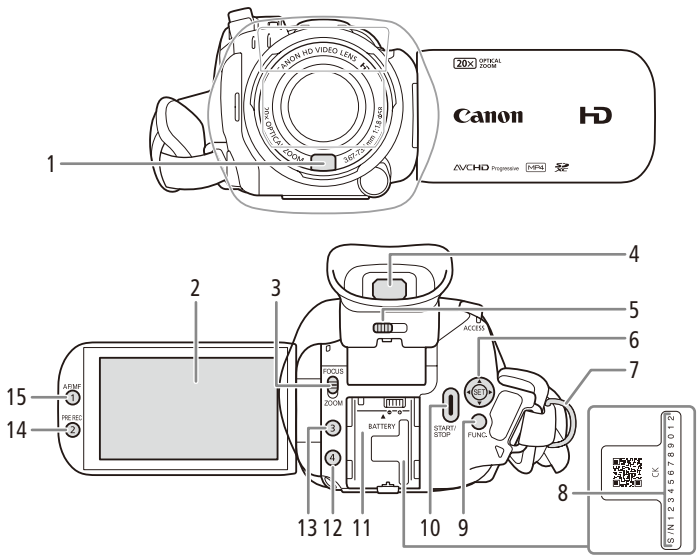
8 レンズフード ▶▶ 🕮 22

9 レンズバリア開閉スイッチ ▶▶ 🕮 38

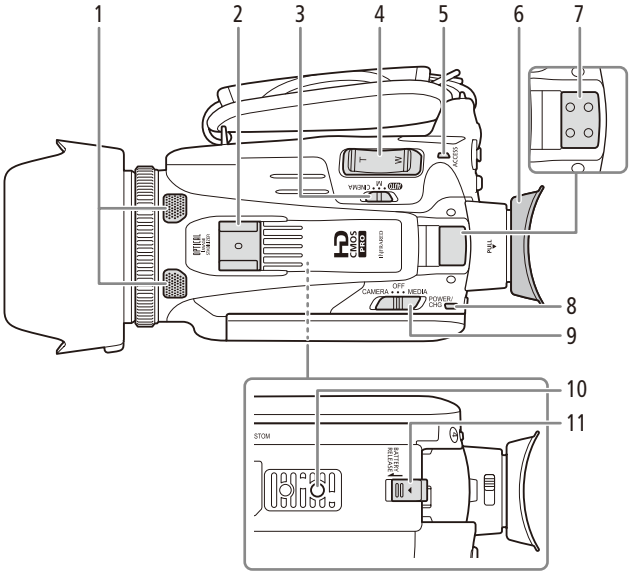


1 MIC（マイク）端子 ▶▶ 🕮 82、101
2 HDMI OUT端子 ▶▶ 🕮 126
3 REMOTE（リモート）端子
- 市販のリモコンなどを接続する。

4 XA15 HD/SD-SDI端子 ▶▶ 🕮 126
5 🎧（ヘッドホン）端子 ▶▶ 🕮 98
6 USB端子 ▶▶ 🕮 105、138
7 グリップベルト ▶▶ 🕮 25
8 内蔵スピーカー ▶▶ 🕮 118
9 AV OUT ▶▶ 🕮 126
10 DC IN端子 ▶▶ 🕮 18



1 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 🕮 53
2 液晶モニター（タッチパネル）▶▶ 🕮 24、27
3 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 50、57
4 ビューファインダー ▶▶ 🕮 23
5 視度調整レバー ▶▶ 🕮 23
6 ジョイスティック ▶▶ 🕮 28
7 ストラップ取り付け部 ▶▶ 🕮 25
8 シリアル番号（機番）
9 FUNC.（ファンクション）ボタン ▶▶ 🕮 28
10 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 🕮 38
11 バッテリー装着部 ▶▶ 🕮 18
12 アサイン4ボタン ▶▶ 🕮 110
13 アサイン3ボタン ▶▶ 🕮 110
14 PRE REC（プレREC）／アサイン2ボタン ▶▶ 🕮 102、110
15 AF/MF切り換え／アサイン1ボタン ▶▶ 🕮 53、110



1 内蔵マイク ▶▶ 🕮 82

2 アクセサリーシュー ▶▶ 🕮 21

3 カメラモード切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 26、38

4 グリップズームレバー ▶▶ 🕮 57

5 ACCESS(アクセス)ランプ ▶▶ 🕮 33

6 アイカップ ▶▶ 🕮 23

7 ハンドルユニット取り付け部 ▶▶ 🕮 21

8 POWER(電源)ランプ／ CHG(充電)ランプ ▶▶ 🕮 18

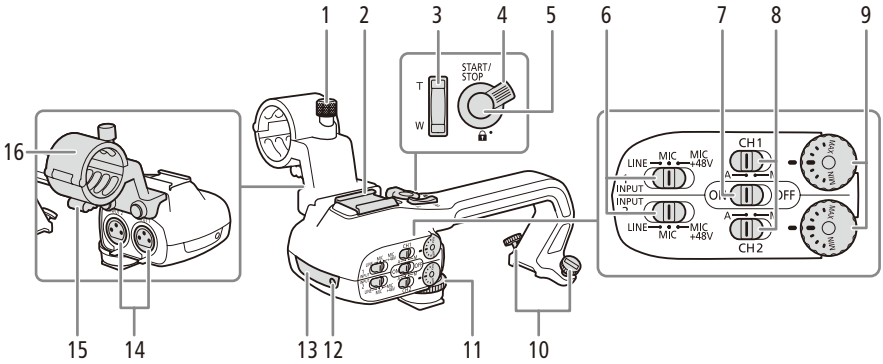
9 電源スイッチ ▶▶ 🕮 26

10 三脚ねじ穴

- 取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付け可能。

11 BATTERY RELEASE(バッテリー取り外し)スイッチ ▶▶ 🕮 19

ハンドルユニットHDU-1の名称



1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 84

2 アクセサリーシュー
- バッテリービデオライト（別売）などを取り付けます。

3 ハンドルズームレバー ▶▶ 60

4 ロックレバー ▶▶ 41

5 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 38

6 INPUT端子入力切り換えスイッチ（INPUT 1/INPUT 2）▶▶ 85

7 INPUT端子切り換えスイッチ ▶▶ 82、85

8 録音レベル切り換えスイッチ（CH1/CH2）▶▶ 82

9 録音レベル調整つまみ（CH1/CH2）▶▶ 86

10 ハンドルユニット取り付けネジ ▶▶ 21

11 ハンドルユニット固定ネジ ▶▶ 21

12 タリーランプ ▶▶ 38

13 赤外ライト ▶▶ 104

14 INPUT 1端子／ INPUT 2端子 ▶▶ 82
- 以降、両端子に共通の説明では「INPUT端子」と呼ぶ。

15 ケーブルクランプ ▶▶ 84

16 外部マイクホルダー ▶▶ 84

MEMO

2 準　備

バッテリーを充電する 18

カメラを準備する 21

カメラを操作する 26

日付／時刻を合わせる 29

メニューの設定を変える 30

カードを準備する 32

カードを初期化する 34

記録先を選ぶ 35

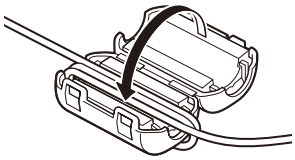
動画形式を選ぶ 36

バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

■ フェライトコアを取り付ける

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用する前に、フェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付けると、発生するノイズを低減できます。

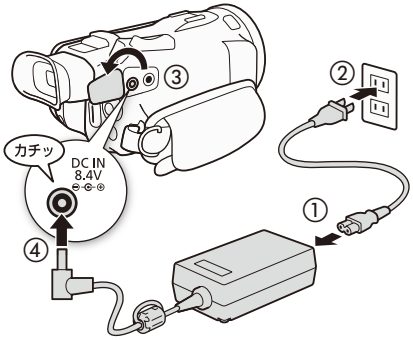


1 DCプラグ（DC IN端子に接続するプラグ）の端から約6cmの位置に、フェライトコアをあてる。

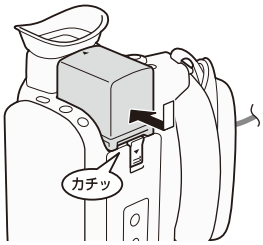
2 ケーブルをフェライトコアの中心に通して、1回巻きつけ、フェライトコアを閉じる。

■ バッテリーを充電する

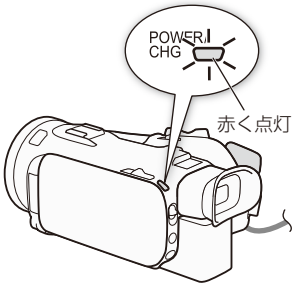
1 コンセントにつなぐ



2 バッテリーを取り付ける

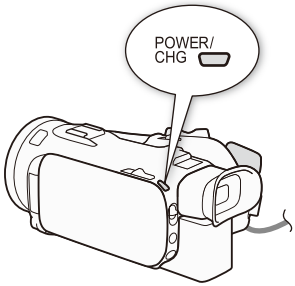


3 電源OFFで充電開始



● 点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(🕮 167)をご覧ください。

4 点灯→消灯で充電完了



バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。



ご注意

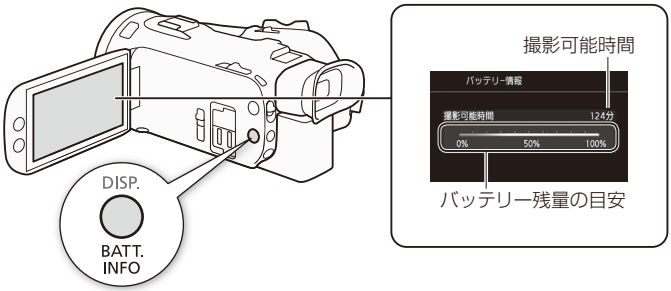
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、POWER（電源）ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を固定して使用しないでください。

MEMO

- 10 °C～30 °Cの場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0 °C～40 °C（使用温度）の範囲外のときは、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- バッテリーの取り扱いについては、176ページを、充電時間や使用時間については189ページをご覧ください。

POINT バッテリーの残量を確認するには

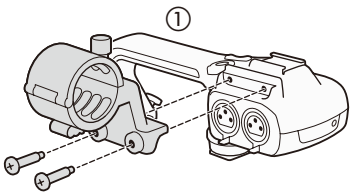
電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



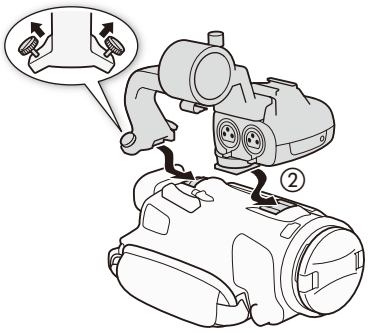
カメラを準備する

ここでは、ハンドルユニットHDU-1とレンズフードの取り付け、ビューファインダーや液晶モニターの調整、グリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

■ ハンドルユニットを取り付ける

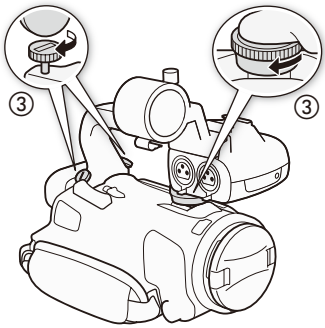


1 付属のネジでマイクホルダーをハンドルに取り付ける（①）



2 ハンドルユニットの前側の取り付け金具をアクセサリーシューに差し込む（②）

- ハンドルユニット取り付けネジは、持ち上げた状態でスライドさせてください。



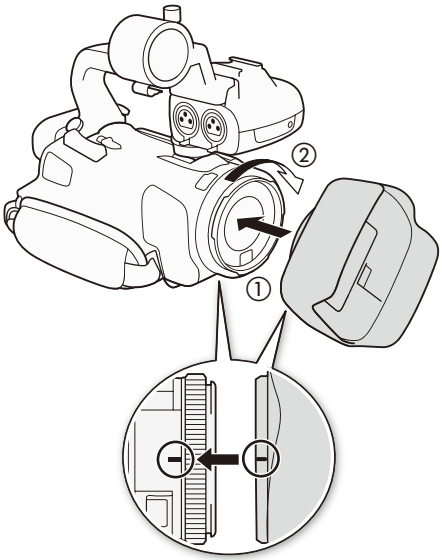
3 ハンドルユニットの固定ネジ（1箇所）と取り付けネジ（2箇所）を回して、固定する（③）

- 取り付けネジはコインなどでしっかり締めてください。

MEMO
- ハンドルユニットを装着しない場合、INPUT端子(82)、赤外ライト(104)、タリーランプ(158)は使用できません。

■ レンズフードとレンズキャップについて

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。



1 レンズキャップを外す

2 レンズフードと本体の目印を合わせて、レンズ先端部にレンズフードを取り付ける（①）

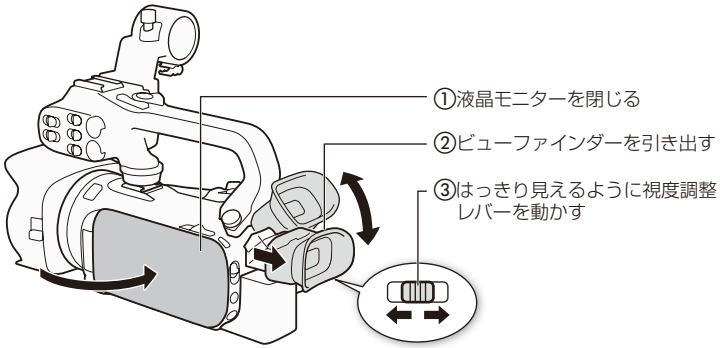
3 時計方向にカチッと音がして止まるまで回す（②）

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなります。取り外すときは、フードを矢印の反対方向に回してください。

MEMO
- レンズキャップはビデオカメラの保管や持ち運びの際にご使用ください。
- レンズキャップが付いていると、フードを取り付けることができません。レンズキャップを外してから、レンズフードを取り付けてください。

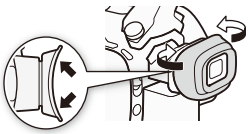
ビューファインダーの視度を調整する

ビューファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ（🕮 38）、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。また、ビューファインダーは、角度を調整できます。

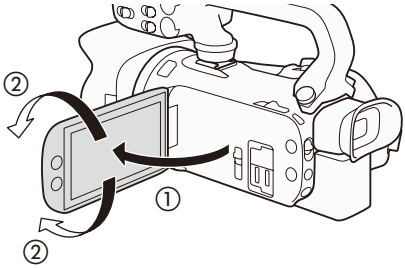


MEMO

- 必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。眼鏡をかけている場合、アイカップのベロ部が邪魔になるときは、図のように折り返してご使用ください。
- ビューファインダーと液晶モニターは同時に使用できません。ビューファインダーを使うときは液晶モニターを閉じてください。



■ 液晶モニターを使う

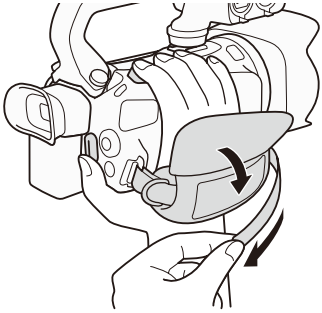


1 液晶モニターを手前に引き出し（①）、見やすい位置まで回転させる（②）

MEMO
- 液晶モニターの明るさは、メニューの「液晶明るさ調整」または「液晶バックライト」（📖 157）で調整できます。また、DISP./BATT. INFOボタン（📖 11）を2秒以上押すと「液晶バックライト」の「高輝度」と「通常」を切り換えることができます。ビューファインダーの明るさは「VFバックライト」で調整できます。
- 画面の明るさを調整したり、「ビューアシスト」を「ON」（📖 155）にしたりしても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 液晶モニター／ビューファインダーの取り扱いについては176ページを、お手入れについては180ページをご覧ください。

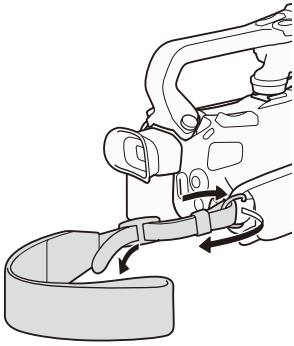
■ グリップベルトを調節する

親指がスタート／ストップボタンに、人さし指がグリップズームレバーに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

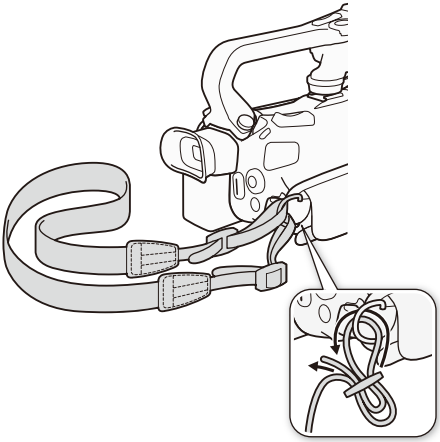


■ ストラップを取り付ける

リストストラップ（別売）のとき



ショルダーストラップ（別売）のとき

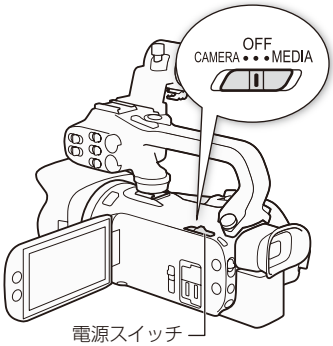


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。電源スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



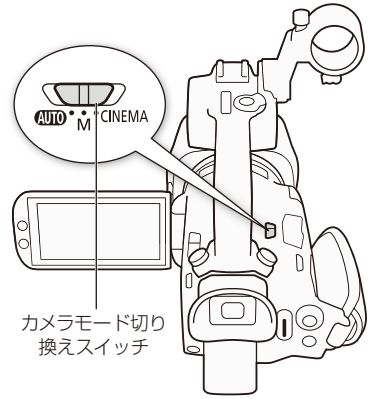
カメラモードで起動するとき
電源スイッチをCAMERAにする

メディアモードで起動するとき
電源スイッチをMEDIAにする

電源を切るとき
電源スイッチをOFFにする

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO（オート）モード（📖 38）
ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます。

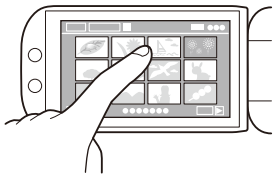
M（マニュアル）モード（📖 41）
ピント（フォーカス）や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます。

CINEMA（シネマ）モード（📖 48）
映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます。

■ タッチパネルで操作する

液晶モニターの画面（タッチパネル）を直接タッチして直観的に操作できます。

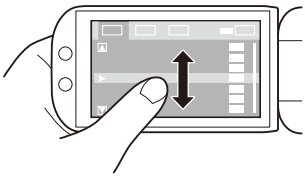
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- シーン（動画）の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ



画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

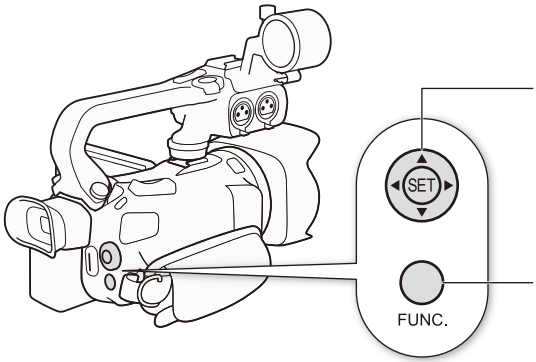
- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

ご注意

- タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどとがったもので操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

FUNC.(ファンクション)ボタン／ジョイスティックで操作する

タッチパネルを使わず、FUNC.(ファンクション)ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



ジョイスティック
上下左右に押すと、画面上のカーソルが上下左右に移動して、項目を選択できます。選択した内容を決定するときはSETを押します。

FUNC.(ファンクション)ボタン
FUNC.メニュー操作を開始するときに押してFUNC.メニューを表示し、設定が終わったら再度押してFUNC.メニューを消します。

日付／時刻を合わせる CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます（🕮 182）。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA



1 電源を入れる（🕮 26）

- はじめて電源をいれると「日付/時刻」設定画面が出る。

▼▲

2 日時を設定する



タッチパネルで操作するとき

① 項目（年月日時分）をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
- この操作を繰り返して日時を設定する。

② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
- 使用するスタイルをタッチして選ぶ。

③「OK」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
- ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。

② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
- ジョイスティックを左右に押して「OK」を選びSETを押す。

MEMO
- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます（🕮 155、182）。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（🕮 178）。

メニューの設定を変える CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニューを操作するときの参考にしてください。以降のページでは、主にタッチパネルの操作で説明しています。メニューの種類については「メニューの紹介」(📖 150)をご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

例 「おしらせ音」を設定する

FUNC.

FUNC.

1 FUNC.メニューを表示させる

FUNC.をタッチ、またはFUNC.ボタン(📖 14)を押す。

- メニュー操作モードになり、画面にFUNC.メニューが表示される。



MENU

2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

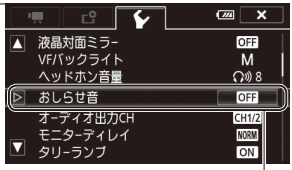
MENU(メニュー)→[ ]をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

① ジョイスティックを上下左右に押して、MENU(メニュー)を選んでSETを押す。
② ジョイスティックを左右に押して[ ]を選ぶ。

3 機能を選ぶ



タッチパネルで操作するとき

① 上下にドラッグして、「おしらせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。

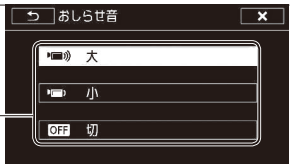
- 左端のΔまたは▽にタッチしてスクロールさせることもできる。
- 画面の機能名をタッチしても機能を選べる。自動的にオレンジのバーまでスクロールされる。

② ▷をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、「おしらせ音」を選んでSETを押す。

4 設定内容を選ぶ



タッチパネルで操作するとき

いずれかをタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、いずれかを選んでSETを押す。

5 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

✕をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、✕を選んでSETを押す。

MEMO
- ✕をタッチしたり、FUNC.ボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカードに記録します（下表）。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。*1

■ 使用可能なSDカード

動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*2	CLASS④、CLASS⑥、CLASS⑩
メーカー *3	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 「録画モード」（🕮 43）を「28 Mbps」または「35Mbps」に設定しているときは、SDスピードクラス6、10のカードの使用をおすすめします。また、「Slow & Fastモーション記録」（🕮 47）で撮影するときは、クラス10のカードの使用をおすすめします。

*2 SDスピードクラスに非対応か、またはClass 2のカードを使うと、動画を記録できないことがあります。

*3 これらのメーカー製のメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2017年6月現在）

ご注意 **SDXCメモリーカードをお使いになるときは**

- SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

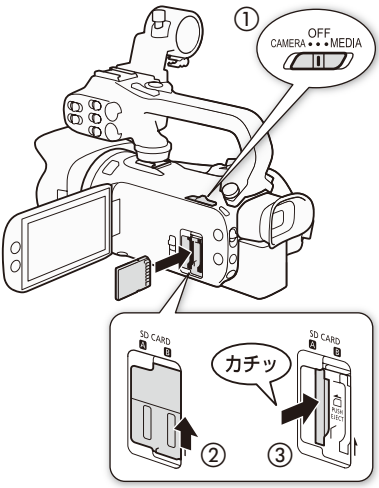
● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを完全初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

MEMO **SDスピードクラスとは？**

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。ご購入の際は、スピードクラスのマークを確認してください。

■ カードを入れる

はじめて使用するときは、初期化してからお使いください（34）。



1 電源をOFFにする（①）

2 カードカバーを開ける（②）

3 カードのラベル面をレンズ側に向けて、奥までしっかり入れる（③）

- カードスロットAとBの両方または、いずれかのみに入れることもできる。

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

MEMO **誤ってデータを消さないために**

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

カードを初期化する CAMERA | MEDIA

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

1 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

FUNC.

2 タッチする

メディアモードのときは、この操作は不要。

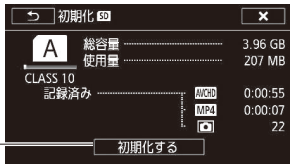
MENU

3 初期化するカードを選ぶ

① MENU（メニュー）→ ⚙ →「初期化 SD」をタッチする。
②「A カードA」または「B カードB」をタッチする。

4 初期化を選ぶ

画面例：カードAの場合



① 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

③ 「OK」をタッチする。

✕

5 タッチする

ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやBD（ブルーレイディスク）などにバックアップ（138、145）してから初期化してください。

記録先を選ぶ CAMERA | MEDIA

動画や静止画の記録先を選びます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

① MENU（メニュー）→ ⚙ をタッチする。
② 「記録先」をタッチする。
③ 「動画記録先」と「静止画記録先」のそれぞれについて、「A カードA」または「B カードB」を選んでタッチする。
④ ⮌をタッチする。



×

3 タッチする

● 「動画記録先」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。

動画形式を選ぶ CAMERA MEDIA

本機ではAVCHD形式とMP4形式の2つの動画形式で動画を記録できます。MP4形式の動画は、スマートホンでの再生や、動画共有サイトへのアップロードなどの用途に向いています。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 動画形式を選ぶ

① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 「動画形式」をタッチする。
③ 「AVCHD AVCHD」または「MP4 MP4」を選ぶ。



×

3 タッチする

● 選択した動画形式のアイコンが画面に表示される。

撮　影

動画や静止画を撮影する 38
画質を選ぶ 43
記録方法を選ぶ 45
映像のなめらかさを選ぶ 46
スロー＆ファスト
モーション記録を行う 47
映画のように撮る 48
ピントを合わせる 50
拡大して撮る 57
手ブレをおさえて撮る 64
AGCリミットを調整する 65
動きの速いものを撮る／
背景をぼかして撮る 66
明るさを調整する 68
色合いを調整する 73
場面や目的に合わせて撮る 75
好みの画質にする 77
タイムコードを設定する 79
ユーザービットを設定する 81
音声を記録する 82
ヘッドホンを使う 98
カラーバー／テストトーンを
記録する 99
ビデオスナップを撮る 101
撮影チャンスを逃さない 102
画面の表示を切り換える 103
赤外撮影（INFRARED）を行う 104
GPSレシーバー GP-E2を使う 105

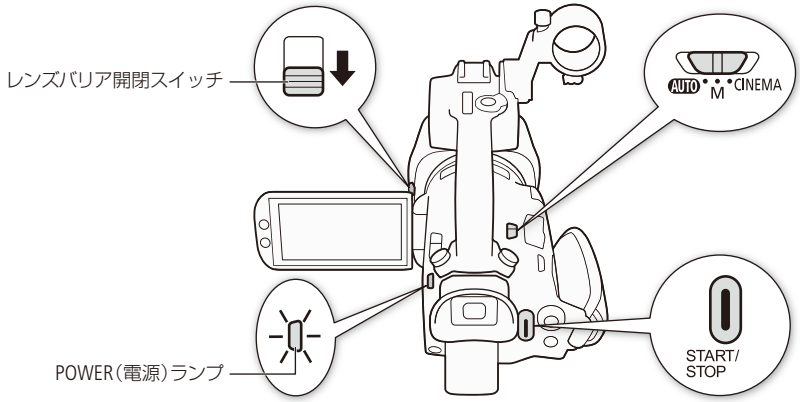
動画や静止画を撮影する CAMERA MEDIA

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、82ページをご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

撮影する

ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できる AUTO（オートモード）を例に、撮影のしかたを説明します。



1 レンズバリアを開ける

① レンズバリア開閉スイッチを下げて、レンズバリアを開ける。

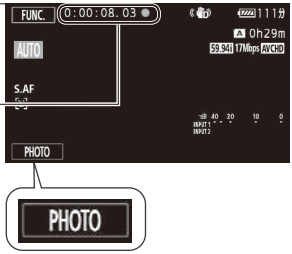
2 カメラモードを AUTO にする（26）

3 電源スイッチを「CAMERA」にする

● POWER（電源）ランプが緑色に点灯。

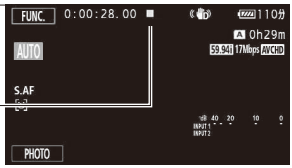
4 START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す

● 撮影が始まり、画面に●が表示される。
● ハンドルユニットを装着しているときは、タリーランプが点灯する。
● ハンドルのSTART/STOPボタンを押して、撮影開始することもできる。



START/
STOP

5 撮影を停止するとき もう一度START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す



- 画面の●が■に変わる。
- 1シーン*の動画が記録され、撮影停止状態になる。

  * 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「シーン」と呼びます。
- ハンドルユニットのタリーランプは消灯する。

PHOTO

6 静止画を撮るとき PHOTOをタッチする

- 画面の右上に▷ A または B が表示される。撮影停止状態のときは、画面の下部に●が表示される。

OFF
CAMERA • • • MEDIA

7 レンズバリアを閉じて、電源を切る

① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
② ACCESSランプが消えていることを確認する。
③ 電源スイッチをOFFにする。
④ 液晶モニターを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

POINT こだわりオートの自動設定機能

ビデオカメラはシーンに応じて、ピント合わせや被写体の明るさ、色合い、手ブレ補正、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

被写体＼背景	明るい（灰色）	青空（水色）	鮮やかな色（緑/黄/赤色）	夕景（オレンジ色）
静止した人物				—
動いている人物				—
風景など、人物以外の被写体				
近くの被写体				—

（　　）は逆光下の場合。

被写体＼背景		暗い（紺色）	
		スポットライト	夜景
静止した人物		—	—
動いている人物		—	—
風景など、人物以外の被写体			
近くの被写体		—	—

* 望遠端付近にズームして被写体に近づくと、自動的にテレマクロが有効になります。テレマクロを使うと背景がぼけるので、被写体を強調したシーンにすることができます。

シーンの判別について

シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが出ることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、  や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**M**（マニュアル）モードで撮影することをおすすめします。

POINT マルチシーンISのマークについて

AUTO（オート）モードのときは、撮影状況に応じて手ブレ補正のモードを自動的に選択し、マークを表示します。**M**（マニュアル）モードの手ブレ補正については「手ブレをおさえて撮る」（64）をご覧ください。

表示されるマーク	撮影状況
（ダイナミック）	ズームの広角側で撮影しているとき。ズームの望遠側で、カメラを左右に動かして被写体を追いかけて撮影しているとき。
（パワードIS）*	ズームの望遠側で、静止して撮影しているとき。
（マクロIS）	近くの被写体を撮影しているとき。
（三脚モード）	三脚装着時など、静止して撮影しているとき。

* （パワードIS）は、MENU（メニュー）→の「マルチシーンIS」で「パワードISあり」または「パワードISなし」を選択できます。

■ **M**（マニュアル）モードで撮影する

このモードではピント（フォーカス）や露出など、自分で設定して撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO **M** CINEMA



1 カメラモードを**M**にする（26）



2 電源スイッチを「CAMERA」にする

- POWER（電源）ランプが緑色に点灯する。

3 動画／静止画を撮影する（38）

ご注意
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO
- ハンドルユニット（付属）のSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- MENU（メニュー）→の「記録コマンド」を「入」にして、本機のHD/SD-SDI端子（XA15）やHDMI OUT端子に、HD/SD-SDI（XA15）またはHDMIの記録コマンド対応機器をつなぐと、本機の撮影／撮影停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録停止を行うことができます。「記録コマンド」を「入」にすると、「ビデオスナップ」は使用できません。

MEMO
- 撮影中にリレー記録(📖 45)が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のシーンとして記録されます。撮影された映像は、ソフトウェアData Import Utilityで結合して、1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(📖 138)。
- シーン内の映像ファイル(ストリーム)は、約4GBに分割して記録されます(本機で再生するときは、連続して再生されます)。分割されたファイルは、ソフトウェアData Import Utilityで結合して、1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます(📖 138)。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください(📖 157)。

静止画について

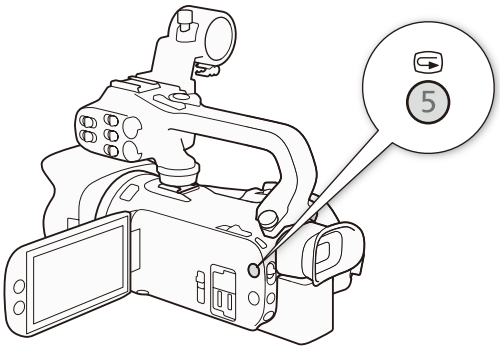
- AUTO(オート) モードまたは**M**(マニュアル) モードで、動画を撮影中または撮影停止中に、静止画を記録できます。記録可能枚数の目安については189ページをご覧ください。
- 撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとることもできます(あとからフォト)(📖 119)。
- スロー&ファストモーション記録中は、静止画を記録できません。
- 「ピクチャー設定」の「ルック」が「高輝度優先」のときは、静止画を記録できません。

画面を閉じて撮影する

三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります (📖 23、190)。

■ いま撮ったシーンを確認する (レックレビュー)

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、音声は再生されません。初期設定ではアサインボタン5(📖 110)に割り当てられていますので、アサインボタン5を押して操作します。



1 撮影が終了したあと、⏪(レックレビュー)ボタンを押す。

- 直前に撮ったシーンの最後の4秒間が再生される。

画質を選ぶ CAMERA MEDIA

録画モード

AVCHD形式とMP4形式それぞれに録画モードを選択できます。AVCHD形式の「28 Mbps LPCM (59.94P)」または「24 Mbps LPCM」で撮影すると、音声はリニアPCM(16ビット、48kHz)の2チャンネルで記録できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

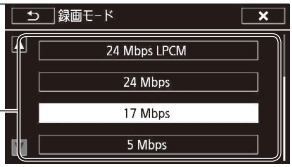
録画モード一覧

動画形式	録画モード	解像度	音声記録形式
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)	1920 x 1080	リニアPCM
	28 Mbps (59.94P)		Dolby Digital
	24 Mbps LPCM		リニアPCM
	24 Mbps 17 Mbps		Dolby Digital
	5 Mbps	1440 x 1080	
MP4	35 Mbps (59.94P) 24 Mbps 17 Mbps	1920 x 1080	AAC
	8 Mbps (59.94P) 4 Mbps	1280 x 720	
	3 Mbps	640 x 360	

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 録画モードを選ぶ

① MENU(メニュー)→ をタッチする。
② 「録画モード」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。



× 3 タッチする

MEMO ● 記録可能時間の目安については188ページをご覧ください。

AVCHDの「28Mbps LPCM (59.94P)」／「28Mbps (59.94P)」またはMP4の「35Mbps (59.94P)」／「8Mbps (59.94P)」を使うとき

- 記録した動画は、テレビによっては再生できないことがある。
- 「同時記録」を使用できない。
- カメラモードを「シネマ」にしていると、設定できない。

● 28 Mbpsモード（AVCHD）の動画を使って、AVCHD規格のDVDを作成することはできません。AVCHD Ver.2.0に準拠したBD（ブルーレイディスク）レコーダーへのダビングはできます。

● 以下のMP4形式のシーンは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。

- データ容量が4GBを超えるもの。
- 録画時間が1時間以上のもの。ただし、録画モードが「35 Mbps」または「8 Mbps」の場合は、30分以上のもの。

記録方法を選ぶ CAMERA MEDIA

同時記録／リレー記録

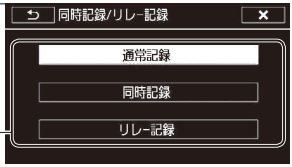
2つのカードスロットにカードを入れると、2枚のカードに同時に映像を記録（同時記録）したり、記録先に指定したカードがいっぱいになったら、もう一方のカードに自動的に切り換えて記録（リレー記録）したりすることができます。同時記録の2枚目のカードには、1枚目のカードと異なる動画形式／録画モードで記録することもできます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. **1** タッチする

MENU **2** 同時記録またはリレー記録を選ぶ

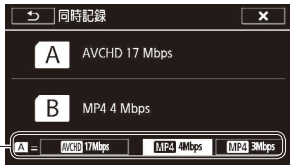
① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 「同時記録/リレー記録」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。



● 同時記録またはリレー記録を解除するときは、「通常記録」を選ぶ。

同時記録を選んだとき

2枚目のカードの動画形式／録画モードの組み合わせを選ぶ。



× **3** タッチする

MEMO
● リレー記録は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ切り換え可能です。
● リレー記録で分割されたファイルは、ソフトウェアData Import Utility（138）を使用して結合し、1つのファイルとしてパソコンに取り込めます。

同時記録が使用できないとき

- フレームレートが59.94Pの録画モードのとき。
- CINEMA（シネマ）モードのとき。

映像のなめらかさを選ぶ CAMERA MEDIA

フレームレート

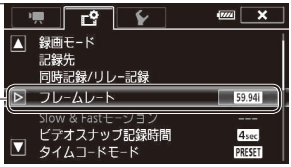
1秒間に記録されるコマの数（フレームレート）を設定できます。フレームレートによって、記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD形式では、通常は59.94i を選びます。録画モードがAVCHD形式の28 Mbps LPCM ／ 28 Mbps、またはMP4形式の35 Mbps ／ 8 Mbps の場合、フレームレートは自動的に59.94Pに設定されます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 フレームレートを選ぶ

① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラッグして、「フレームレート」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。



AVCHD動画形式

59.94i	59.94i	テレビ信号と同じように記録する（59.94フィールドインターレース）。
PF29.97	PF29.97	映像を29.97コマ/秒で撮影し、59.94iに変換して記録する。インターネットで映像を公開するときなどに便利。
23.98P	23.98P	映像を23.98コマ/秒で撮影、記録する。

MP4動画形式

29.97P	29.97P	映像を29.97コマ／秒で撮影して記録する。
23.98P	23.98P	映像を23.98コマ／秒で撮影して記録する。

× 3 タッチする

MEMO ● **M**（マニュアル）モードと**CINEMA**（シネマ）モードで個別に設定できます。

スロー&ファストモーション記録を行う CAMERA MEDIA

Slow & Fastモーション記録

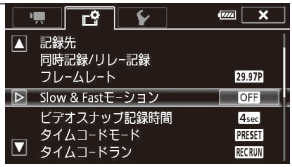
MP4形式の動画は、動きのある映像を0.4倍、0.5倍、0.8倍で記録（スロー記録）したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。スロー&ファストの倍速は、0.4倍から1200倍の範囲で選べます。設定できる倍速は「録画モード」と「フレームレート」の設定によって異なります。なお、音声は記録されません。

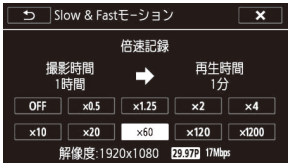
動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 倍速を設定する

① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラッグして、「Slow & Fastモーション」をタッチする。
③ いずれかの倍速をタッチする。





録画モード	フレームレート	倍速
35 Mbps (59.94P)、8 Mbps（59.94P）		x2、x2.5
24 Mbps、17 Mbps	29.97P	x0.5、x1.25、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x1200
	23.98P	x0.4、x0.8

× 3 タッチする

MEMO
- 同時記録、リレー記録、プレREC、ビデオスナップ、カラーバー、「フェイスキャッチ&追尾」と同時に使用することはできません。
- スロー&ファストモーション記録中のタイムコードは「Rec Run」または「Regen.」で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。「Free Run」に設定している状態でスロー&ファストモーション記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定され、「Slow & Fastモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻ります。
- 録画モードが「35 Mbps (59.94P)」または「8 Mbps (59.94P)」か、倍速が「x2」または「x2.5」のときは、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- 1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約12時間です。それを越えると自動的に停止します。
  例）　倍速が「x0.5」の場合、記録時間は6時間（再生時間は12時間）。

映画のように撮る CAMERA MEDIA

シネマモード／シネマルックフィルター

お好みのシネマルックフィルターを選んで撮影すると、映像の色合いや雰囲気を変えて、映画のワンシーンのように撮影できます。MP4形式の動画に変換するときにシネマルックフィルターを使うこともできます（143）。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

AUTO M CINEMA

1 カメラモードをCINEMAにする（26）

FILTER 1

2 タッチする



3 シネマルックフィルターを選ぶ

上下にドラッグして、いずれかのフィルターを選ぶ。

- 画面の表示が、選んだフィルターの色合いに変わる。



4 効果の強さを選ぶ

① をタッチする。

シネマスタンダードの場合

❶「ON」をタッチ→調整する項目名をタッチする。
❷ メーターを左右にドラッグして調整→⮌をタッチする。

色の濃さ	: -2（薄い）～ +2（濃い）
ソフトフィルター	: OFF、1 ～ 3
キー	: L、M、H
コントラスト	: -2（弱い）～ +2（強い）

シネマスタンダード以外の場合

「L」（弱）、「M」（中）、「H」（強）のいずれかをタッチする。

② ⮌をタッチする。

OK

5 タッチする

POINT シネマルックフィルターの一覧

1 シネマスタンダード



映画のような基本画質。

2 ポップ



色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。

3 ファンタジー



まるで夢の中にいるかのような柔らかな幻想世界。

4 クール



見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。

5 セピア



何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。

6 オールドムービー



画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。

7 メモリー



はるか昔に出会った場面のように。

MEMO シネマモードで使用できない機能

- 静止画の記録
- 同時記録
- フレームレートが59.94Pの録画モードでの記録
- Slow & Fastモーション記録
- 赤外撮影（📖 104）

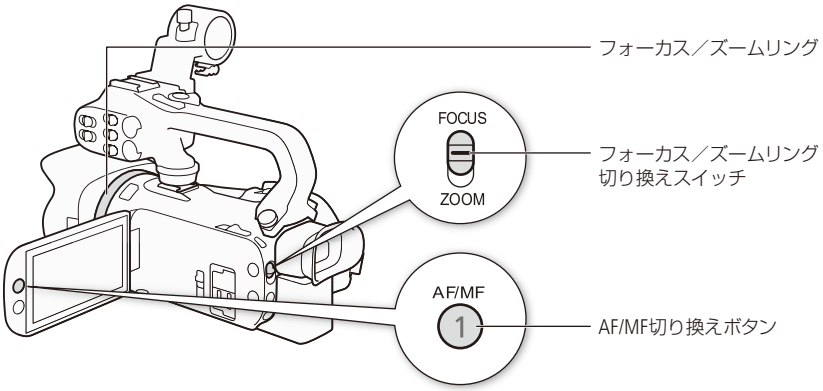
ピントを合わせる CAMERA MEDIA

フォーカス

フォーカス調整のしかたには、マニュアルフォーカスとオートフォーカスがあります。マニュアルフォーカスでは、フォーカス位置のプリセットが使用でき、オートフォーカスでは、人物の顔を検出してフォーカスを自動的に合わせる「フェイスキャッチ&追尾」が使用できます。

MF(マニュアルフォーカス)で調整する

フォーカス／ズームリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカス／ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス／ズームリングの操作方向、敏感度をメニューで設定することができます(158)。画面上の被写体をタッチしてフォーカスを自動調整した後で、手動で微調整することもできます。



動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FOCUS ZOOM

1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする

AF/MF 1

FUNC.

2 フォーカス／ズームリングだけで調整するとき AF/MF切り換えボタンを押す

● マニュアルフォーカスに切り換わると、画面にMFが表示される(操作5へ)。

画面の被写体をタッチしてフォーカス調整するとき FUNC.をタッチする

⦿

3 フォーカスを選ぶ

⦿(フォーカス)をタッチする。
- フォーカス調整画面が出る。



4 画面上の被写体をタッチする

画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチする。
- タッチした場所に⁘が点滅してピントが自動で調整された後、マニュアルフォーカスになる。



オートフォーカスに戻すとき　**MF**をタッチする。

5 フォーカス／ズームリングを回して、フォーカスを調整する

- メニューの「フォーカスアシスト」(🕮 150)を「入」に設定しているときは、フォーカス／ズームリングを回すと画面の中央が拡大され、くっきりと表示される。
- 操作中は、操作方向の目安として被写体との距離表示が数秒間出る。

■ フォーカスプリセットを使う

FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときはフォーカス位置をプリセットでき、プリセットしたフォーカス位置にフォーカスを合わせることができます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで3段階から選べます(🕮 158)。

フォーカス位置をプリセットする

FUNC.

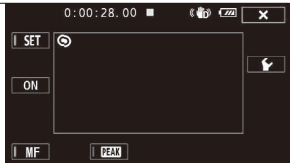
1 FUNCメニューでマニュアルフォーカスにする

①「MF(マニュアルフォーカス)で調整する」の操作1 ～ 5を行う。

SET

2 タッチする

- タッチしたときのフォーカス位置がプリセットされる。

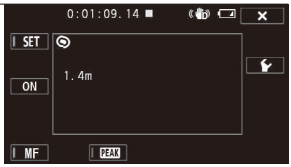


プリセットしたフォーカス位置に戻る

ON

1 タッチする

● フォーカスがプリセットした位置に調整され、固定される。
● フォーカスやズームの調整中、ON は灰色になりタッチできない。



プリセット位置をキャンセルするとき

SET をタッチする

MEMO ● 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置は解除されます。

■ ピントの合った被写体の輪郭に色をつける（ピーキング）

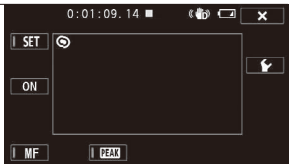
ピント合わせをしやすくするために、ピントの合った被写体の輪郭に色をつけて表示できます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色（ピーキング色）をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選択できます。

FUNC.

◉

1 ピーキングの設定画面を出す

① FUNC. →◉（フォーカス）をタッチ→☝をタッチする。



2 ピーキング色を選ぶ

① いずれかをタッチする。
② ⮌をタッチする。



PEAK

3 ピーキング色を表示する

PEAK をタッチする。



● ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。
● 「ピーキング時白黒」が「入」のときは、画面の映像が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

ピーキングを使わないとき　もう一度 PEAK をタッチする。

✕ 4 タッチする

MEMO ● ピーキングを表示しても、記録される映像に影響はありません。

AF(オートフォーカス)で調整する

オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。自動的にピント合わせが可能なのは1cm (ワイド端、レンズ先端から) ～∞ (無限遠) または60cm (ズーム全域、レンズ先端から)です。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

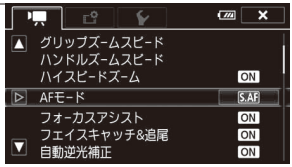
AF/MF 1 **M** (マニュアル)モードまたはCINEMA (シネマ)モードのとき AF/MF切り換えボタンを押す

AF(オートフォーカス)のスピードを選ぶ

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 AFモードを選ぶ

① MENU (メニュー)をタッチする。
② 上下にドラッグして、「AFモード」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

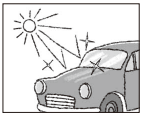


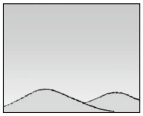
S.AF (ハイスピードAF)	もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。
M.AF (ミディアムスピードAF)	ハイスピードAFに比べてより滑らかな動作を行います。外部センサーを併用します。
AF (ノーマルAF)	安定したAF動作を行います。

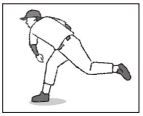
✕ 3 タッチする

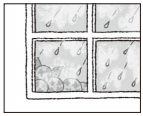
MEMO
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます（被写体が小さく撮影されるため）。この場合、撮影モードが「**P**（プログラムAE）」、「**Tv**（シャッター優先AE）」、「**Av**（絞り優先AE）」、「**M**（マニュアル露出）」のときは、NDフィルターを「オート」にしてください（🕮 152）。
- 別売のコンバージョンレンズを装着して、メニューの「コンバージョンレンズ」を「TL-H58」または「WA-H58」に設定すると、「ハイスピードAF」、「ミディアムスピードAF」は使用できません。
- フレームレートが「PF29.97」または「23.98P」の場合、「59.94P」や「59.94i」のときよりもフォーカスが合うまでに若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- オートフォーカス中にフォーカス／ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになり、操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが「打上げ花火」の場合、ピントは∞（無限遠）で固定となります。

POINT 自動でピントが合いにくいときはどんなとき？


強い光が反射


画面の中央に
明暗の差がない


動きが速い


水滴が付いている
ガラス越しの撮影


夜景

- 「ピクチャー設定」の「ルック」が「Wide DR」のとき。
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき。

■ 顔を検出してAFやAEを合わせる（フェイスキャッチ&追尾）

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはオートフォーカスで調整します。複数の顔を検出した場合、メインの被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。人物以外にもペットなどの動いている被写体をメインの被写体にできます（追尾）。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。

FUNC.

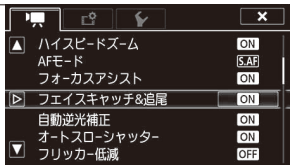
1 タッチする

MENU

ON

×

2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ



① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして、「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。
③ ON（入）をタッチする。

解除するとき　OFF（切）をタッチする。

④ ×をタッチする。

3 カメラを人物に向ける



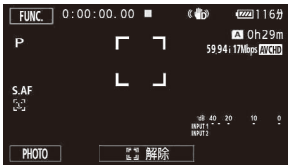
● メインの被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

特定の人やペットを選ぶとき

特定の人物をタッチする。
● タッチした被写体に白い2重枠が出る。
● 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「解除」をタッチする。



フェイスオンリー AFを使う

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当て、アサインボタンを押して「フェイスオンリーAF」のON/OFFを切り換えます（110）。フェイスオンリーAFをONにすると が表示されます。

MEMO
- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「切」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「入」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。

  * メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分(色など)をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- 撮影モードが「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」のとき。
- シャッタースピードが1/30秒未満*のとき。

  * メニューの「フレームレート」が「23.98P」のときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで80倍を超えて拡大しているとき。
- 赤外撮影(🕮 104)がONのとき。
- 「Slow & Fastモーション」(🕮 47)が「OFF」以外のとき。

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

拡大して撮る CAMERA MEDIA

ズーム

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズームレバー、ハンドルズームレバー *1、ズーム画面で操作します。光学ズームで20倍まで拡大でき、デジタルズーム*2を使うと400倍まで拡大できます（📖 150）。

*1 ハンドルユニット装着時のみ。

*2 デジタルズームは AUTO（オート）モードやメニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を設定しているときは使えません。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

■ フォーカス／ズームリングで操作する



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOM（ズーム）にする



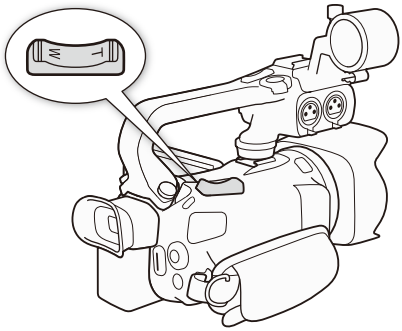
2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

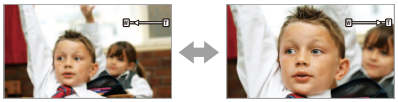
- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

MEMO
- フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

■ グリップズームレバーで操作する

広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。





W側（広角）　T側（望遠）

グリップズームレバーのズームスピードを設定する

グリップズームレバーの押しかた（操作量）に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。ズームスピードレベルを「ハイ」にすると、ズーム音が大きくなることがあり、ズーム音が記録されることがあります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

グリップズームスピード	CONST の速度設定（16段階）	ズームスピードレベル		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR（可変速）	—	約4.0秒～約4分45秒	約2.5秒～約3分	約1.9秒* ～約1分
CONST（固定速）	速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

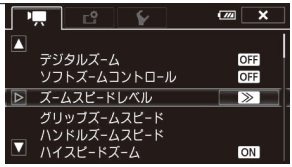
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 ズームスピードレベルを選ぶ

① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
③ 「≫ハイ」、「≫ミドル」、「>ロー」のいずれかをタッチする。
④ ⮌をタッチする。



3 VAR（可変速）または CONST（固定速）を選ぶ

① 上下にドラッグして「グリップズームスピード」をタッチする。
② VARまたは CONST をタッチする。

4 CONST（固定速）を選んだとき ズームの速度を設定する

① （⬇）または（⬆）をタッチして設定する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



✕ 5 タッチする

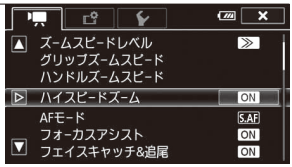
撮影停止中のズームスピードを速くする（ハイスピードズーム）

撮影停止中のグリップズームのズームスピードレベルを強制的に「ハイ」にします。グリップズームスピードが「可変速」のときに使用できます。撮影中は「ズームスピードレベル」の設定が有効になります。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 ハイスピードズームを選ぶ

① MENU（メニュー）→「ハイスピードズーム」をタッチする。
② 「ON（入）」をタッチする。

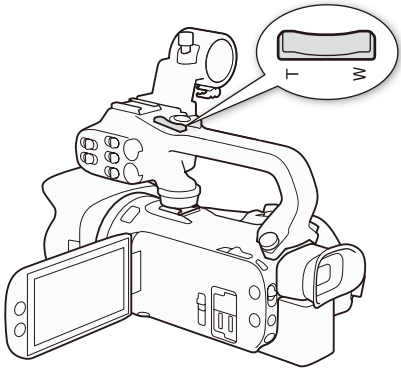


✕ 3 タッチする

MEMO
- 撮影停止中にプレREC（102）を「ON」に設定していると「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。
- 外部マイクを使って撮影する場合、ズーム音が記録されることがあります。

ハンドルズームレバーで操作する

広角にするときは**W**（ワイド）側を押し、望遠にするときは**T**（テレ）側を押します。ハンドルズームレバーを使用するときは、あらかじめハンドルユニットHDU-1（付属）を取り付けてください（🕮 21）。



ハンドルズームレバーのズームスピードを設定する

ズームのしかたは一定の速度でズームする「固定速」です。ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

ズームスピードにかかわる設定と、ワイド端→テレ端のズーム移動にかかる時間

速度設定（16段階）	ズームスピードレベル		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1（最低速）	約4分45秒	約3分	約1分
速度16（最高速）	約4.0秒	約2.5秒	約1.9秒*

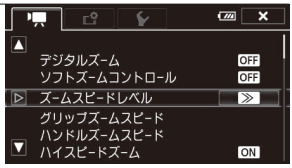
* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

FUNC. 1 タッチする

MENU ⮌

2 ズームスピードレベルを選ぶ

① MENU（メニュー）をタッチする。
② 上下にドラッグして「ズームスピードレベル」をタッチする。
③「≫ハイ」、「≫ミドル」、「＞ロー」のいずれかをタッチする。
④ ⮌をタッチする。



3 CONST（固定速）を選ぶ

① 上下にドラッグして「ハンドルズームスピード」をタッチする。
② CONST をタッチする。
③ ⬇ または ⬆ をタッチして設定する。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

ハンドルズームを使わないとき

②で OFF をタッチする。



✕

4 タッチする

■ ズーム画面で操作する

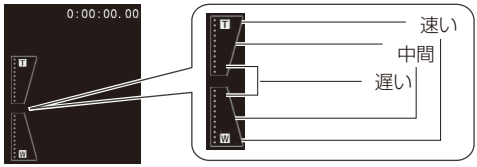
FUNC.

1 タッチする

2 ズームを選ぶ

① 上下にドラッグして、「ZOOM」(ズーム)をタッチする。
- ズーム画面が出る。

② 画面上の「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。
- ズームスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。



✕ 3 タッチする

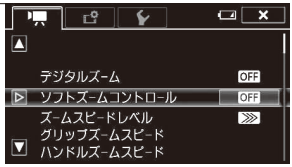
■ ズームの操作を滑らかにする (ソフトズームコントロール)

ズームスタート時の加速、ズームストップ時の減速を緩やかにします。

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 設定を選ぶ

① MENU (メニュー)をタッチする。
② 上下にドラッグして、「ソフトズームコントロール」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。



START (スタート)	スタート時のみ有効にする
STOP (ストップ)	ストップ時のみ有効にする
START STOP (スタート&ストップ)	スタート／ストップ時有効にする

✕ 3 タッチする

デジタルテレコンを使う

デジタルテレコンを使うと、デジタル処理によって焦点距離を2倍にして、映像を拡大して撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

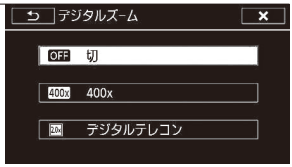
FUNC.

1 タッチする

MENU
2.0x
×

2 デジタルテレコンを選ぶ

① MENU（メニュー）をタッチする。
②「デジタルズーム」をタッチする。
③「 2.0x デジタルテレコン」をタッチする。
④ ×をタッチする。



FUNC.

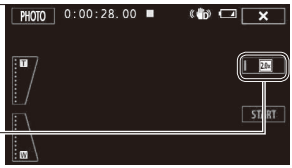
3 タッチする

2.0x

4 デジタルテレコンを有効にする

① 上下にドラッグして、「ZOOM」（ズーム）をタッチする。
② 2.0x（デジタルテレコン）をタッチする。
● 画面の中央が約2倍に拡大される。

解除するとき　もう一度 2.0x をタッチする。



×

5 タッチする

MEMO
● 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
● 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-H58」を選択しているときは設定できません。
● 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。

手ブレをおさえて撮る CAMERA MEDIA

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

2 手ブレ補正を選ぶ

① 上下にドラッグして、(手ブレ補正)をタッチする。
② いずれかをタッチする。



(ダイナミック)	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
(スタンダード)	静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
(切)	三脚などを使って撮影するとき。

× 3 タッチする

POINT 望遠撮影時の大きな手ブレをおさえる（パワードIS）

パワードISを使うと、手ブレ補正を強化することができます。静止して撮影するときに、ズームを望遠側にするほど効果的です。画面に左手をそえると、より安定して撮影できます。パワードISを使うときは、アサインボタン（110）に「パワードIS」を割り当てて操作します。

「パワードIS」を割り当てたアサインボタン*を押し続ける。

● 押している間、画面に が出る。



* 操作のしかたは、メニューの「パワードISボタン」で選べます（156）。

MEMO

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- カメラを左右や上下に動かして撮るときは、手ブレ補正を「ダイナミック」または「スタンダード」にすることをおすすめします。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「パワードIS」を割り当てたアサインボタン（110）の操作によりパワードISは有効になります。
- 「ダイナミック」のときと、それ以外のときとでは、ワイド端での撮影画角が異なります。

AGCリミットを調整する CAMERA MEDIA

本機は、被写体の明るさに応じて映像アンプの増幅量（ゲイン）を自動的に調整（AGC*）しますが、ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。ゲインの上限（AGCリミット）を設定すると、映像に含まれるざらつきの量を調整することができます。

* Auto Gain Control.。

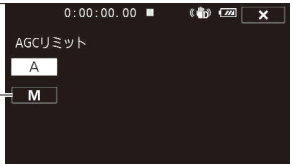
動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

AGC M 2 AGCリミットを選ぶ

AGC（AGCリミット）→**M**（マニュアル）をタッチする。

● **M**がONになり、メーターが出る。



◀ ▶ 3 ゲインの上限を選ぶ

◀ または ▶ をタッチして、ゲインを選ぶ。

● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

● 数値を小さくする程、ゲインの上限が低くなる。



AGCリミットを解除するとき

A（オート）をタッチする。

✕ 4 タッチする

● 画面にAGCリミットの設定値（dB）が表示される。

MEMO **AGCリミットが使用できない場合**

- 撮影モードが「マニュアル露出」または、いずれかのSCN（シーン）モード（📖 75）のとき。
- 露出が**M**（マニュアル）のとき（📖 68）。
- 赤外撮影を設定しているとき（📖 104）。

「ピクチャー設定」（📖 77）の「ルック」が「Wide DR」の場合

- AGCリミットの最小値は6dBです。
- 「ピクチャー設定」のON/OFFを切り換えたり、「ピクチャー設定」の「ルック」を「Wide DR」とそれ以外で切り換えたりすると、AGCリミットは**A**（オート）に戻ります。

● CUSTOMダイヤル&ボタンに「AGC（AGCリミット）」を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでAGCリミットの値を調整できます（📖 108）。

動きの速いものを撮る／背景をぼかして撮る

CAMERA | MEDIA

シャッタースピード／しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、しぼり数値が大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

P ◀▶

2 撮影モードを選ぶ

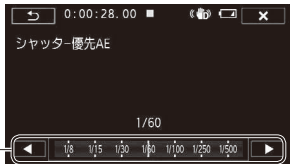
① **P**（撮影モード）をタッチする。
② いずれかをタッチする。



P（プログラムAE）	：	シャッタースピードとしぼりが自動設定になる。
Tv（シャッター優先AE）	：	シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動設定になる。
Av（絞り優先AE）	：	しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動設定になる。

AEはAuto Exposure（自動露出）、TvはTime value（時間量）、AvはAperture value（開口量）の略です。

③ ◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。
● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。



✕

3 タッチする

POINT シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「**Tv** 30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。 水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」（🕮 46）を「23.98P」に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

MEMO

Tvのとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと、明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影する場合、画面のちらつきがとれないときは、**Tv**を選んでから1/100秒を選んでください。

Avのとき

- しぼり数値
  F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0
- 絞り値がF4.0のときは、NDフィルターの濃度を選択できます（🕮 152）。
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

- 数値が点滅するときは、明るさが適正ではありません。点滅しなくなるまで、シャッタースピード／しぼりを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のとき、露出を手動で調整してから、シャッタースピードやしぼりを変更することはできません。あらかじめシャッタースピードやしぼりを設定してから、露出を調整してください。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに「Ⅳ（**Tv**/**Av**）」を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでシャッタースピードまたはしぼりを調整できます（🕮 108）。

明るさを調整する CAMERA MEDIA

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。しぼり、シャッタースピード、ゲインのそれぞれの値を手動で調整するときは「マニュアル露出」撮影モードを使います。他の撮影モードのときに露出を調整することもできます。

■ しぼり、シャッタースピード、ゲインを手動で調整する（マニュアル露出）

撮影モードを「マニュアル露出」にすると、しぼり、シャッタースピード、ゲインを手動で調整できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

M 2 マニュアル露出を選ぶ

① **P**（撮影モード）をタッチする。
② 「**M**（マニュアル露出）」をタッチする。
● マニュアル露出画面が出る。

3 調整する項目をタッチする

① いずれかの調整項目をタッチする。



◀▶ 4 ◀または▶をタッチして数値を選ぶ

● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
● 必要に応じて、操作3 ～操作4を繰り返して他の調整値を設定する。

✕ 5 タッチする

MEMO
- 「ピクチャー設定」（🕮 77）の「ルック」が「Wide DR」の場合、ゲインの最小値は6dBです。
- CUSTOMダイヤル＆ボタンに「**M**（マニュアル露出）」を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ボタンで調整項目（しぼり、シャッタースピード、ゲイン）を切り換え、CUSTOM（カスタム）ダイヤルで選んだ項目の数値を調整できます（🕮 108）。

ゼブラパターンを使う

ゼブラパターンを使うと、映像の明るい部分に縞模様が表示されます。「100%」は白とびするような明るさの部分に、「70%」はそれに近い明るさの部分に縞模様が表示されます。明るさのバランスを確認したいときに使うと安心です。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 露出を選ぶ

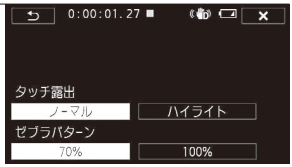
① マニュアル露出画面（68）または露出画面（70）を出す。

2 タッチする



3 ゼブラパターンを選ぶ

① 「70%」または「100%」のいずれかをタッチする。
② ⮌をタッチする。



4 ゼブラパターンを表示する

① 「70」または「100」のいずれかをタッチする。



- 映像上の露出オーバーの部分にゼブラパターンが表示される。
- もう一度タッチすると、ゼブラパターンは解除される。

5 タッチする

MEMO ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

■ 露出を調整する

「マニュアル露出」と「打上げ花火」以外の撮影モードでは、本機は自動的に露出を調整しますが、画面上でタッチした被写体に露出を合わせたり（タッチ露出）、手動で調整したりすることもできます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

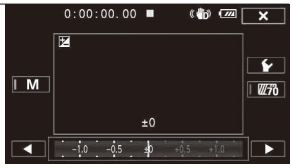
▣

2 露出を選ぶ

① ▣（露出）をタッチする。

◀▶

3 露出を調整する



① 画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。
- タッチした場所に⁘が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになり、メーターが出る。

② さらに調整するときは、◀または▶をタッチして、好みの数値を選ぶ。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ①の操作のかわりに**M**ボタンをタッチして、メーターで調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき　**M**をタッチする。

✕

4 タッチする

- 露出の固定中は、画面に▣と露出の調整値が出る。

MEMO
- 赤外撮影（🕮 104）がONの場合、露出調整は行えません。
- 電源スイッチまたはカメラモード切り換えスイッチの操作や、撮影モードの切り換えを行うと、露出は自動調整に戻ります。
- CUSTOMダイヤル＆ボタンに「▣（露出）」を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルで露出値を調整できます（🕮 108）。

■ 明るい部分にタッチして明るさを補正する（ハイライトAE）

画面の中の明るい部分（ハイライト）にタッチして、露出を補正できます。タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。なお、タッチした部分が暗いときや、極端に明るいときは適切な補正にならないことがあります。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 露出を選ぶ

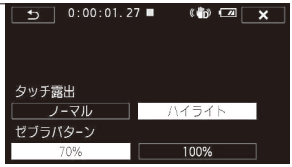
① FUNC.→☒（露出）をタッチする。

2 タッチする



3 ハイライトを選ぶ

① 「ハイライト」→をタッチする。



ハイライトを使わないとき

「ノーマル」をタッチする。

● タッチ露出の通常の設定に戻る。

4 露出を調整する

70ページの操作3を行う。

5 タッチする

■ 強制逆光補正

逆光の被写体を撮影するとき、逆光補正を使うと、映像全体、特に暗い部分を明るく撮影することができます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

2 逆光補正を選ぶ

① (強制逆光補正)をタッチする。
② 「ON」をタッチする。
● 「OFF」をタッチするまで、逆光に適した露出になる。



× 3 タッチする

MEMO 強制逆光補正が使用できないとき

- 撮影モードが「打上げ花火」のとき。
- 「ピクチャー設定」の「ルック」が「Wide DR」のとき。

● アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」のON/OFFを切り換えられます(🕮 110)。
● メニューの「自動逆光補正」で、自動的に逆光補正を検出して補正することもできます(🕮 150)。

色合いを調整する CAMERA MEDIA

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

WB 2 ホワイトバランスを選ぶ



① WB(ホワイトバランス)をタッチする。
② いずれかをタッチする。
- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

K(色温度)を選んだとき

◀または▶をタッチして色温度を調整する。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

1(セット1)または 2(セット2)を選んだとき

❶ グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写す。
❷「白取り込み」をタッチする。
- (セット)が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

× 3 タッチする

POINT ホワイトバランスの調整方法

調整方法	内容
AWB オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。 AWBはAuto White Balance（オートホワイトバランス）の略です。
☀ 太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
☁ くもり	曇天時に撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
K 色温度	2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
セット1 セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

MEMO

セット1（セット1）または セット2（セット2）を選んで調整するとき

- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください（📖 150）。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれにセット（セット）が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB（オート）でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であればセット1（セット1）またはセット2（セット2）で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

● 蛍光灯の種類によっては、蛍光灯）や蛍光灯H）を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB（オート）またはセット1（セット1）またはセット2（セット2）を選んでください。

場面や目的に合わせて撮る CAMERA MEDIA

SCN(シーン)モード

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

P 2 撮影モードを選ぶ

① P(撮影モード)→(ポートレート)をタッチする。
② いずれかをタッチする。



POINT シーンモードで選べる項目

ポートレート
背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



スポーツ
動きの速い被写体を撮る。



夜景
夜景をきれいに撮る。



スノー
照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



ビーチ
照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮る。



ローライト
暗い場所で被写体を明るく撮る。



スポットライト
スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームを**T**側にすると、より効果的に背景がぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください(🕮 50)。

- 打上げ花火を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

好みの画質にする CAMERA MEDIA

ピクチャー設定

撮影映像の基本画質（ルック）を選んだり、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを調整したりすることができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに設定できます。赤外撮影（📖 104）がONのときは使用できません。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 ピクチャー設定を選んで、ONにする

① 上下にドラッグして（ピクチャー設定）をタッチする。
② 「ON」をタッチする。



ピクチャー設定を行わないとき

②で「OFF」をタッチする。

3 必要に応じて、ルックを選ぶ

① 「ルック」をタッチする。
② いずれかをタッチ→⮌をタッチする。

スタンダード：基準画質設定。
高輝度優先　：高輝度領域を圧縮しないため、白トビを抑え、自然な階調で撮影。
Wide DR　　：広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現。

4 「色の濃さ」、「シャープネス」、「コントラスト」、「明るさ」のいずれかをタッチする



① ◀または▶をタッチして調整する。

- メーターを左右にドラッグして調整することもできる。
- 他の調整項目を調整するときは、⮌をタッチして操作4から同様に操作する。

色の濃さ　：−2（薄い）〜+2（濃い）
シャープネス：−2（弱い）〜+2（強い）
コントラスト：−2（弱い）〜+2（強い）。「ルック」が「高輝度優先」／「Wide DR」のときは調整できない。
明るさ　　：−2（暗い）〜+2（明るい）

✕ 5 タッチする

● ピクチャー設定をONにすると、画面に**Bc**が出る。「ルック」を「高輝度優先」にしたときは、**Bc**の横に⊞が出る。

MEMO
- 撮影モードが「マニュアル露出」のときと、露出が**M**（マニュアル）のときは、「明るさ」を設定できません。
- 「ルック」に「高輝度優先」を選んだとき、メニューの「⊞ビューアシスト」（🕮 155）をONにすると、より適切な映像を画面やビューファインダーで確認することが出来ます。
- 「ルック」を「Wide DR」にすると、ゲインの最小値が6dBになるため、晴れた日の屋外などでは適正な露出に制御出来ず、被写体が明るく撮影されることがあります。

タイムコードを設定する CAMERA MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HD/SD-SDI端子（XA15）、HDMI OUT端子に出力される映像にも表示されます。また、HDMI OUT端子へのタイムコード出力は、メニューで入／切できます（158）。ドロップフレームとノンドロップフレームを選択することもできます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

■ カウントアップ方式を選ぶ

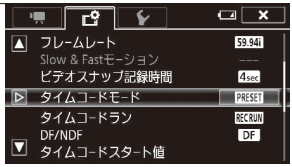
タイムコードモード	タイムコードラン	内容
Preset（プリセット）	Rec Run（レックラン）	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のカードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。
	Free Run（フリーラン）	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen.（リジェネ）	–	タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のカードに記録している間、タイムコードは記録したシーンの順で連続する。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 タイムコードモードを選ぶ



① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラッグして「タイムコードモード」をタッチする。
③ 「PRESET Preset」または「REGEN. Regen.」→ ⮌ をタッチする。

Preset ：「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen. ：カードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。

● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。✕をタッチする。

3 「Preset」を選んだとき タイムコードランを選ぶ

① 「タイムコードラン」をタッチする。
② 「REC RUN Rec Run」または「FREE RUN Free Run」→ ⮌ をタッチする。

4 「Preset」を選んだとき　任意の初期値を設定する



① 「タイムコードスタート値」をタッチする。
- 初期値の設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。

② ▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- 「リセット」をタッチすると、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
- 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。

③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ→「OK」をタッチする。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

■ ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

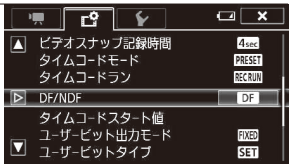
ドロップフレーム（DF）とノンドロップフレーム（NDF）を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」のときはNDFに固定されます。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 DFまたはNDFを選ぶ



① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラッグして「DF/NDF」をタッチする。
③ 「DF」または「NDF」→✕をタッチする。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00 : 00 : 00 . 00
  NDFのとき　00 : 00 : 00 : 00

MEMO
- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0 ～ 23、それ以外は0 ～ 29となります。
- 「プレ記録」のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する CAMERA MEDIA

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒にカードに記録できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、ユーザービットは、HD/SD-SDI端子（XA15）またはHDMI OUT端子から出力することもできます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

■ 任意の16進数を設定する

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 16進数を設定する



① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラグして「ユーザービットタイプ」→「設定」をタッチする。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。

③ 変更したい桁をタッチしたあと、▲/▼をタッチして数値を選ぶ。
- 「リセット」をタッチすると、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。

④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ→「OK」→✕をタッチする。

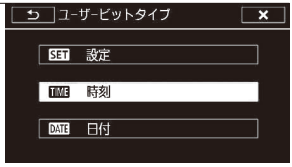
■ 時刻または日付を設定する

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 「時刻」または「日付」を選ぶ



① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラグして「ユーザービットタイプ」→「時刻」または「日付」→✕をタッチする。

MEMO **ユーザービットを出力するとき**

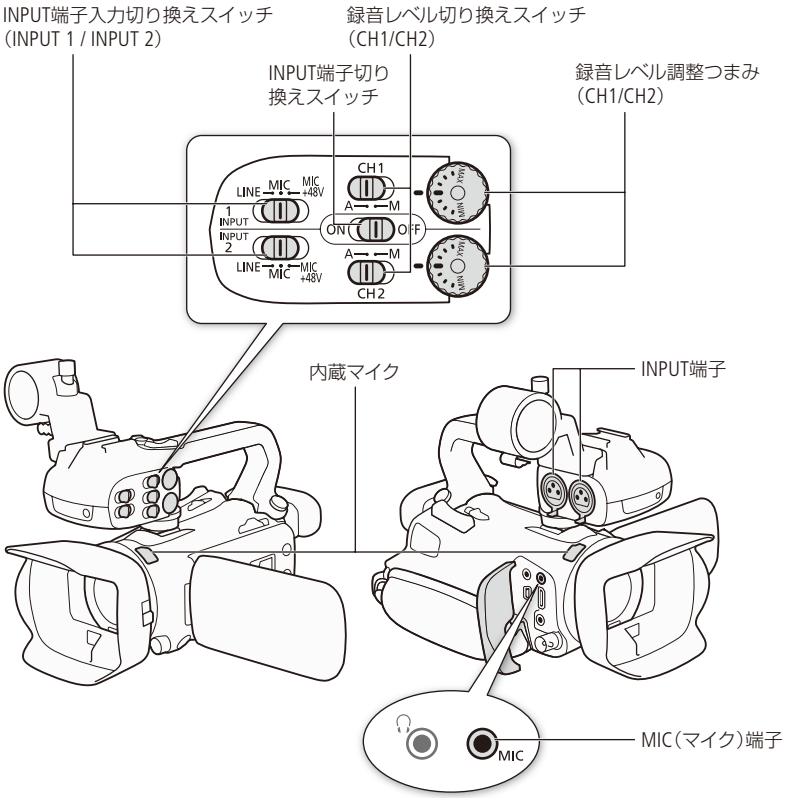
- MEDIAモードで、MP4形式の動画を再生しているとき、HD/SD-SDI OUT端子またはHDMI OUT端子に重畳されるユーザービットは固定値（0）が出力されます。
- 「フレームレート」が「23.98P」の場合、「ユーザービット出力モード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2 : 3プルダウン情報になります。

音声を記録する CAMERA MEDIA

収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク入力（MIC端子／ INPUT端子*）、外部ライン入力（INPUT端子*）から選択できます。INPUT 1端子／ INPUT 2端子の入力音声は、それぞれ個別に選択できます。
AVCHD形式の場合、録画モード（🕮 43）を「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」にすると、2チャンネルのリニアPCM記録方式（16ビット、48 kHz）で記録できます。

* ハンドルユニットHDU-1（付属）装着時のみ

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA



記録音声と必要な設定

CH1とCH2の両チャンネルに記録される入力音声は、ハンドルの有無、INPUT端子切り換えスイッチの状態、MIC端子の接続の有無、メニューの設定から決まります。

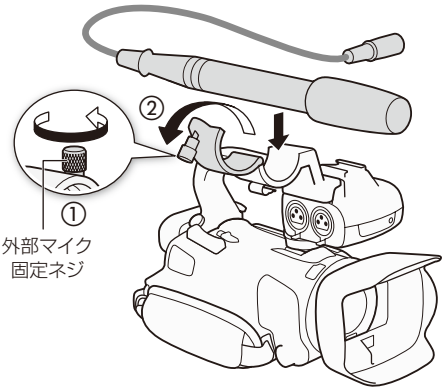
記録音声		必要な設定			
CH1	CH2	ハンドルの装着	INPUT端子切り換えスイッチ	MIC端子へのマイクの接続	「CH2入力」*1
INPUT 1端子	INPUT 2端子	有	ON	—	INPUT 2
	INPUT 1端子				INPUT 1
	MIC端子*2			有	内蔵マイク／MIC
	内蔵マイク*2			無	
MIC端子（L）	MIC端子（R）	有	OFF	有	—
		無	—		
内蔵マイク（L）	内蔵マイク（R）	有	OFF	無	
		無	—		

*1 メニューの「CH2入力」の設定（85）

*2 モノラル音声

■ 外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する

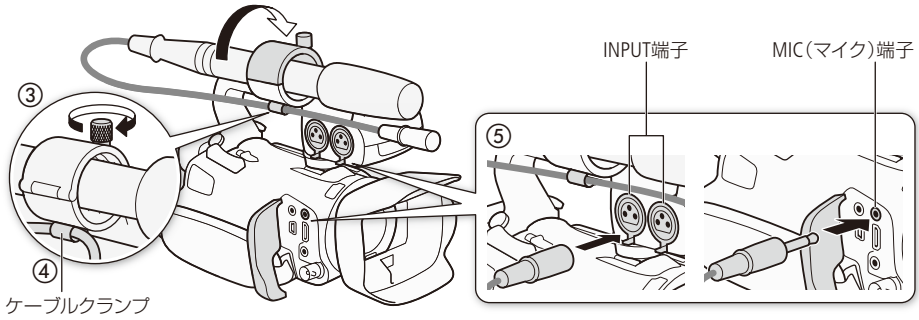
マイクホルダーやINPUT端子を使用するときは、ハンドルユニットHDU-1（付属）を取り付けてください（🕮 21）。



1 マイクのとき　外部マイク固定ねじをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

2 マイクのとき　外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）

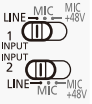


■ 外部マイク（INPUT端子）／外部ライン入力（INPUT端子）の音声を選択する

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ



1 INPUT端子切り換えスイッチをONにする



2 INPUT端子入力切り換えスイッチのINPUT 1/INPUT 2をLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。

CH2を選択する

チャンネル2に記録する入力信号はメニューで「INPUT 1」、「INPUT 2」、「内蔵マイク/MIC」から選べます。入力する信号の組み合わせは以下の3種類です。

①INPUT 1 → CH1
　　→ CH2

②INPUT 1 → CH1
　INPUT 2 → CH2

③INPUT 1 → CH1
　内蔵マイク/MIC → CH2

①と③では、CH1のバックアップ用としてCH2を使用できます。

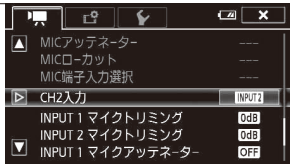
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 チャンネル2の音声を選ぶ

① MENU（メニュー）→「CH2入力」をタッチする。
② 「INPUT 1」、「INPUT 2」または「内蔵マイク/MIC」のいずれかをタッチする。



×

3 タッチする

MEMO

- CH2に「INPUT1」を選んだときのCH2に記録される音声は、CH2の設定（オート／マニュアル、録音レベル）が適用されます。
- 「内蔵マイク/MIC」を選んだ場合、音声はモノラルで記録されます。内蔵マイクの場合は「オーディオシーン」の「スタンダード」設定となります。

■ 外部マイク（INPUT端子）の録音レベルを調整する

INPUT端子の録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する



録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

INPUT端子のCH1/CH2が同じ音声入力（外部ライン入力または外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。「 」→「INPUT 1/2 ALCリンク」（🕮 151）で設定します。

マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は－∞～ +18 dBの範囲で行うことができます。



1 録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする



2 録音レベル調整つまみを回して、調整する

- つまみのMIN（－∞）～中央の調整位置（0dB）～ MAX（+18 dB）の範囲で録音レベルを調整する。
- レベルメーターの表示が－18dB（－20dBのひとつ右隣）より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。

MEMO
- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、INPUT端子に接続した機器ではメニューで「INPUT1 (2)　マイクアッテネーター」を「入」にしてください(88)。
- 録音レベルを調整したり、「INPUT1 (2)　マイクアッテネーター」を「入」に設定したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(98)。

音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが-6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、[カメラ]→「INPUT 1/2 リミッター」(151)で行います。

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

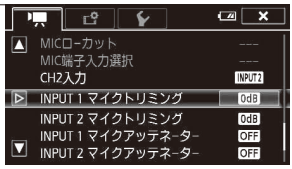
INPUT 1またはINPUT2の入力感度を調整します。INPUT端子入力切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。

FUNC.

1 タッチする

MENU

2 「INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2マイクトリミング」を選ぶ



① MENU (メニュー)→「INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2マイクトリミング」をタッチする。

② 「+12 dB」、「+6 dB」、「0 dB」、「-6 dB」、「-12 dB」のいずれかをタッチする。

×

3 タッチする

外部マイク（INPUT端子）のアッテネーターを使う

INPUT 1またはINPUT2の信号に対し、アッテネーター（20dB）を使用します。INPUT端子入力切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに、使用できます。

FUNC.

1 タッチする

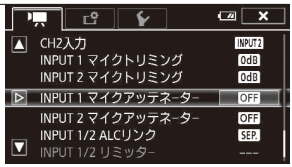
MENU

2 「INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2マイクアッテネーター」を選ぶ

① MENU（メニュー）→「INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2マイクアッテネーター」をタッチする。

② 「ON（入）」をタッチする。

● マイク信号は20dB減衰する。



×

3 タッチする

■ 内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の音声を選択する



ハンドルユニットを装着したまま内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）で音声を収録するときは、INPUT端子切り換えスイッチをOFFにする。

● MIC端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからMIC端子へ自動的に切り換わる。

外部入力機器（MIC端子）の入力信号を選択する

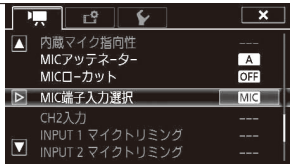
MIC端子に入力する信号を選択します。オーディオプレーヤーなどの外部機器か市販の外部マイクかを選択します。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 MIC端子の入力音声種別を切り換える

① MENU（メニュー）→「MIC端子入力選択」をタッチする。
② 接続した機器に応じて、いずれかをタッチする。



LINE 外部音源　オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。
MIC マイク　市販の外部マイクを使用するとき。

× 3 タッチする

■ 場面に合わせて内蔵マイクの音質を選択する（オーディオシーン）

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれるシーンが簡単に撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

1 タッチする

2 オーディオシーンを選ぶ

① 上下にドラッグして、AUDIO（オーディオシーン）をタッチする。
② いずれかをタッチする。
- 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。



♪STD スタンダード	カメラまかせの標準的な設定で録音するとき。
音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
♪c カスタム*	音質を自由に設定するとき。

* 「カスタム」のときは、FUNC.メニューの「マイクレベル」（📖 92）、メニューの「内蔵マイクウィンドカット」（📖 95）、「内蔵マイクアッテネーター」（📖 95）、「内蔵マイク周波数特性」、「内蔵マイク指向性」で音質を細かく設定できます。AUTO（オート）モードのときは設定できません。「カスタム」に設定したあと、AUTO（オート）モードに切り換えると、「スタンダード」に戻ります。

✕

3 タッチする

POINT オーディオシーンの各設定一覧

	スタンダード ♪STD	音楽	スピーチ	森と野鳥	ノイズカット
マイクレベル	マニュアル 70	マニュアル 70	マニュアル 86	マニュアル 80	マニュアル 70
内蔵マイクウィンドカット	オートハイ	オートロー	オートハイ	オートハイ	オートハイ
内蔵マイクアッテネーター	オート	オート	オート	オート	オート
内蔵マイク指向性切替	ノーマル	ワイド	モノラル	ワイド	モノラル
内蔵マイク周波数特性	ノーマル	低高域強調	中域強調	低域カット	低域カット

	カスタム ♪C
マイクレベル	オート／マニュアル
内蔵マイクウィンドカット	オートハイ／オートロー／切
内蔵マイクアッテネーター	オート／入／切
内蔵マイク指向性切替	モノラル／ノーマル／ワイド／ズーム
内蔵マイク周波数特性	ノーマル／低域強調／低域カット／中域強調／低高域強調

■ 内蔵マイク／外部マイク（MIC端子）の録音レベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク（MIC端子）の録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。内蔵マイクのマイクレベルを調整するときは、あらかじめ「オーディオシーン」を「カスタム」に設定してください（🕮 91）。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

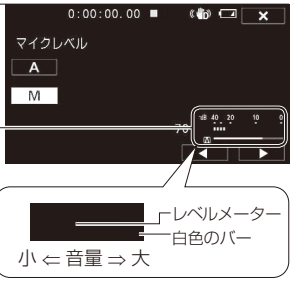
FUNC.　1 タッチする

🎙 M　2 マイクレベルを選ぶ

上下にドラッグして、🎙（マイクレベル）→**M**（マニュアル）をタッチする。

- レベルメーターと調整用の◀／▶が出る。

自動調整に戻すとき　**A**（オート）をタッチする。



◀ ▶　3 マイクレベルを調整する

◀または▶をタッチして調整する。

- レベルメーターの表示が－18dB（－20dBのひとつ右隣）より右が時々点灯する状態を目安に調整することをおすすめします。

✕　4 タッチする

- 調整した位置で録音レベルが固定される。

POINT　自動調整のときにレベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、録音時の音量を確認することができます。

① **A**（オート）をタッチする。
② 「レベルメーター」をタッチする。
- レベルメーターが出る。

③ ✕をタッチする。



MEMO
- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「内蔵マイクアッテネーター」を「入」に設定しているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（98）。

内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。この機能を使うときは、あらかじめ「オーディオシーン」を「カスタム」に設定してください（90）。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

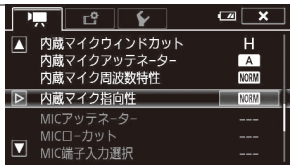
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 内蔵マイク指向性を選ぶ

MENU（メニュー）→「内蔵マイク指向性」をタッチする。



3 指向性を選ぶ

いずれかの指向性をタッチする。

- 2ch MONO モノラル　マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。
- NORM ノーマル　ワイドとモノラルの中間。標準的な2ch録音。
- 2ch WIDE ワイド　音の広がりを強調した2ch録音。臨場感を出したいときに。
- 2ch ZOOM ズーム　2ch録音。録音時の音量がズームに連動するので、離れた被写体を拡大して撮ると、音量も大きくなる。

×

4 タッチする

内蔵マイクの周波数特性を変える

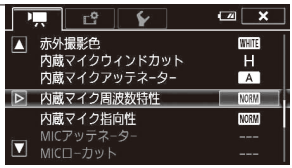
収録する音に合わせて最適特性で録音できます。この機能を使うときは、あらかじめ「オーディオシーン」を「カスタム」に設定してください（📖 90）。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

MENU（メニュー）→「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。



3 周波数特性を選ぶ

上下にドラッグしていずれかの周波数特性をタッチする。

NORM	ノーマル	最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
LB	低域強調	低域を強調し、迫力ある録音ができる。
LC	低域カット	風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
MB	中域強調	人の声を中心に録音する。
LHB	低高域強調	コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

× 4 タッチする

内蔵マイクのウィンドカットを使う

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。この機能を使うときは、あらかじめ「オーディオシーン」を「カスタム」に設定してください（📖 90）。

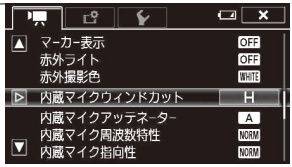
動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 内蔵マイクウィンドカットを選ぶ

① MENU（メニュー）→「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。

② 「**H** オートハイ」または「**L** オートロー Low」をタッチする。



✕ 3 タッチする

内蔵マイクのアッテネーターを使う

内蔵マイクの信号に対しアッテネータ（20dB）をかけます。この機能を使うときは、あらかじめ「オーディオシーン」を「カスタム」に設定してください（📖 90）。

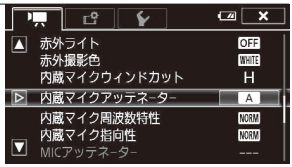
動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU

2 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

① MENU（メニュー）→「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。
② いずれかをタッチする。



A（オート）	カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できます。
ON（入）	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面にATTが出ます。
OFF（切）	アッテネーターは常に働かない。「切」にすると画面にAOFFが出る。

×

3 タッチする

外部マイク（MIC端子）の低音を低減する

外部マイク（MIC端子）を使用する場合、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

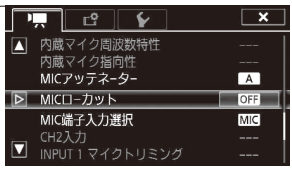
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 MICローカットを選ぶ

① MENU（メニュー）→「MICローカット」をタッチする。
② 「ON」または「OFF」をタッチする。



×

3 タッチする

外部マイク（MIC端子）のアッテネーターを使う

外部マイク使用時、MIC端子の信号に対し大音量の音声がひずまないように、アッテネーター（20 dB）を使用します。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

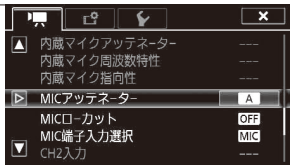
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 MICアッテネーターを選ぶ

① MENU（メニュー）→「MICアッテネーター」をタッチする。
② いずれかをタッチする。



A（オート）	カメラがマイク音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
ON（入）	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できます。「入」にすると画面にATTが出る。
OFF（切）	アッテネーターは常に働かない。「切」にすると画面にAOFFが出る。

×

3 タッチする

ヘッドホンを使う CAMERA MEDIA

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

ヘッドホンを🎧(ヘッドホン)端子に接続して、撮影／再生時の音声をヘッドホンでモニターできます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.

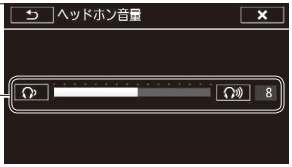
1 タッチする

● MEDIAモードのときは、この操作は不要。

🎧
🎧

2 ヘッドホン音量を調整する

① MENU(メニュー)→[↩]をタッチする。
② 上下にドラッグして、「ヘッドホン音量」をタッチする。
③ 🎧または🎧をタッチして調整する。
● メーターを左右にドラッグしても調整できる。



×

3 タッチする

● 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する CAMERA MEDIA

🎧/🔈
🎧
🎧

1 再生中 音量を調整する

① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。
② 🎧/🔈をタッチする。
③ ヘッドホン音量の🎧または🎧をタッチして音量を調整する。



ご注意 ● ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

MEMO ● モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかを[↩]→「モニターディレイ」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます(📖 129)。

カラーバー／テストトーンを記録する CAMERA MEDIA

カラーバー &テストトーン

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHZのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
AV OUT端子	●	●
HDMI OUT端子	●	●
XA15 HD/SD-SDI端子	●	●
∩(ヘッドホン)端子	—	●

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。

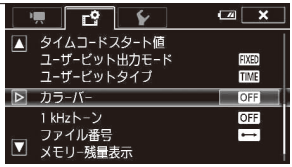
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 カラーバーを選ぶ

① MENU(メニュー)→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「カラーバー」をタッチする。
③ 「SMPTE」または「ARIB」をタッチする。
● 画面にカラーバーが表示される。



×

3 タッチする

● START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

撮影

■ テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、−12dB、−18dB、−20dBから選べます。

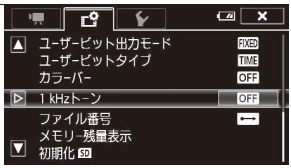
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 テストトーンのレベルを選ぶ

① MENU（メニュー）→ [ ] をタッチする。
② 上下にドラッグして「1 kHzトーン」をタッチする。
③ 「-12dB −12dB」、「-18dB −18dB」、「-20dB −20dB」、「OFF 切」のいずれかを選ぶ。



×

3 タッチする

- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

ビデオスナップを撮る CAMERA MEDIA

ビデオスナップモードを使って撮影すると、4秒間の短い映像（ビデオスナップ）が記録できます。ビデオスナップはアサインボタン（🕮 110）に「ビデオスナップ」を割り当てて操作します。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC.
MENU

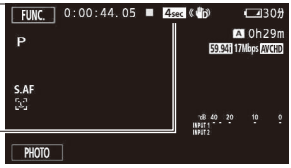
1 アサインボタンに「ビデオスナップ」を割り当てる（🕮 110）

2 アサインボタンを押す

① 「ビデオスナップ」を割り当てたアサインボタンを押す。

● 4sec *が表示される。

* ビデオスナップの記録時間の設定に応じて変わる。



START/
STOP

3 押す

● 約4秒間撮影し、自動的に撮影が停止する。
● 記録後、シャッターを切ったときのように画面が一度黒くなる。

MEMO
● メニューの「ビデオスナップ記録時間」（🕮 154）で記録時間を変更できます。
● 以下の場合、ビデオスナップモードは解除されます。
■ 電源スイッチやカメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
■ 動画形式（AVCHD / MP4）やフレームレートを切り換えたとき。

撮影チャンスを逃さない CAMERA MEDIA

プレREC

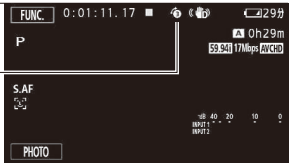
START/STOPボタンを押す3秒前からの映像が自動的に記録されるので、決定的な瞬間を逃しません。撮影開始のタイミングを図りにくいときに便利です。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

PRE REC

1 押す

① 画面にが出る。



解除するとき

もう一度PRE RECボタンを押す。

START/STOP

2 押す

● ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

MEMO ● プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- 約1時間ビデオカメラを操作しなかったとき。
- カメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
- ビデオスナップモードにしたとき。
- FUNC.メニューの次のボタンをタッチしたとき。
  「MENU」、「撮影モード」、「ホワイトバランス」、「AGCリミット」、「オーディオシーン」、「手ブレ補正」
- 「ピクチャー設定」の「ルック」(77)を変更したとき。

画面の表示を切り換える CAMERA MEDIA

画面に表示する撮影情報などを切り換えられます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA



押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

■ 表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示 → （マーカー表示）*1	→ 表示なし
動画再生中*2 静止画再生中*2	メニューの「データコード表示」の設定情報を表示	→ すべて表示

*1 メニューで「マーカー表示」を設定しているときのみ表示される。

*2 DISP.ボタンを押したり、画面をタッチしたりすると、設定内容にかかわらず操作ボタンが出る。

POINT データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（153）。表示される情報は、撮影データの種類によって異なります。

赤外撮影 (INFRARED)を行う CAMERA MEDIA

Infrared (赤外撮影) モードを使うと、通常の撮影に比べて近赤外線の受光感度が上がるため、暗い撮影シーンでも明るく撮影できます。また、ハンドルユニットHDU-1装着時は、HDU-1に付属の赤外ライトを使えば、より明るく撮影できます。なお、赤外撮影色 (高輝度部分色)は、白または緑から選択できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA



1 INFRARED(赤外撮影)切り換えスイッチをONにする

- Infraredモードになり、画面に IR が表示される。

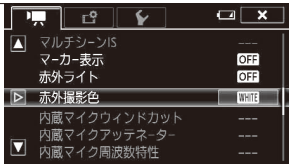
FUNC.

2 タッチする

MENU

3 赤外撮影色を設定する

① MENU (メニュー)→上下にドラッグして「赤外撮影色」をタッチする。
② 「WHITE 白」または「GREEN 緑」のいずれかを選ぶ。
③ ⮌をタッチする。



4 必要に応じて、赤外ライトを点灯する

① 「赤外ライト」→ ON (入)をタッチする。

×

5 タッチする

- 赤外ライトを点灯すると、画面に ON が表示される。

MEMO

- INFRAREDスイッチをONにすると、ゲイン、シャッタースピード、絞りはオートに、フォーカスはAFになります*。また、AGCリミット、ホワイトバランス、ピクチャー設定、露出、自動逆光補正、強制逆光補正、撮影モード、フェイスキャッチ&追尾、ハイスピードAF、ミディアムスピードAFは設定できません。NDフィルターは退避状態で固定になります。

  * 赤外撮影設定中にAF/MFを切り換えられます。
- 光源の種類によっては、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
- 赤外撮影時は近赤外光の感度を大幅にアップしているため、赤外撮影に切り換えるときには、強い光や熱源をレンズに向けないでください。強い光や熱源が被写体内にある状態で赤外撮影に切り換えるときは、レンズを遮光した状態での切り換えを推奨します。
- アサインボタン(🕮 110)に「赤外ライト」を割り当てて操作することもできます。

GPSレシーバー GP-E2を使う CAMERA MEDIA

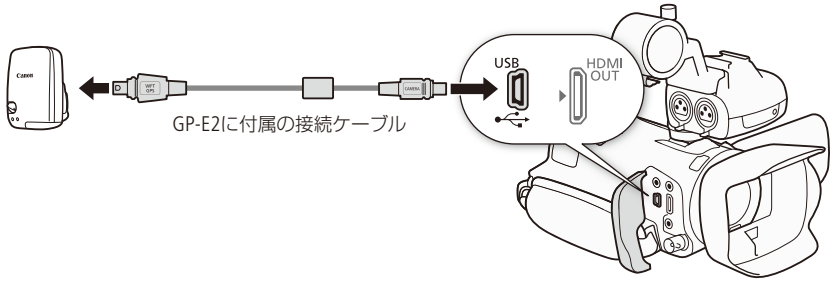
本機のUSB端子にGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して撮影すると、GPSから取得した位置情報 (経度、緯度、標高)を動画や静止画に記録できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、接続ケーブル*を使って本機のUSB端子に接続します。撮影時は、携帯用ケース*に入れ、本機のグリップベルトまたは腰に取り付けて使用することをお勧めします。GP-E2の取り付け方や詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。

* いずれもGP-E2に付属しています。



GPSを有効にする

① GP-E2 電源を入れる。

- GPS機能が有効になる。画面に🛰が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると🛰が点灯し、以降に記録するシーン／静止画にGPS情報が付加される。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
  - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
  - 「位置情報の更新間隔」
  - 「電子コンパス」(方位情報)
- あとからフォト(📖 119)で切りとった静止画やMP4形式に変換した動画(📖 143)にはGPS情報は付加できません。
- AVCHD動画に付加されたGPS情報は、本機およびソフトウェアData Import Utilityでは削除することができません。

4 カスタマイズ

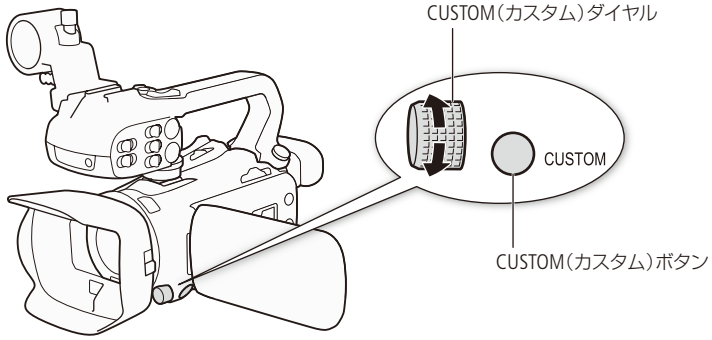
よく使う機能を設定する 108
アサインボタンの機能を変更する ... 110
メニューデータの保存と読み出し ... 112

よく使う機能を設定する CAMERA MEDIA

CUSTOMダイヤル＆ボタン

CUSTOM（カスタム）ボタンとCUSTOM（カスタム）ダイヤルに良く使う機能を割り当てておくと、CUSTOMボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、割り当てた機能の調整を行うことができます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA



割り当て可能な機能と操作

機能	CUSTOMボタン	CUSTOMダイヤル
Tv/Av TV/AV	−	撮影モードがTvまたはAvのときに、シャッタースピード／しぼり値を調整する。
M マニュアル露出	押すたびにしぼり、シャッタースピード、ゲインを切り換える	撮影モードがM（マニュアル露出）のときに、CUSTOM（カスタム）ボタンで選んだ項目の値を調整する。
AGC AGCリミット	A（オート）、M（マニュアル）の切り換え	AGCリミットの上限値を調整する。
露出	A（オート）、M（マニュアル）の切り換え	露出値を調整する。

■ 機能を割り当てる

CUSTOM

1 長押しする

① CUSTOMボタンを長押しする（約1秒）。



2 機能を選ぶ

① CUSTOMダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。
② CUSTOMボタンを押す。

設定した機能を解除するとき　①で OFF を選択する



3 機能を調整する

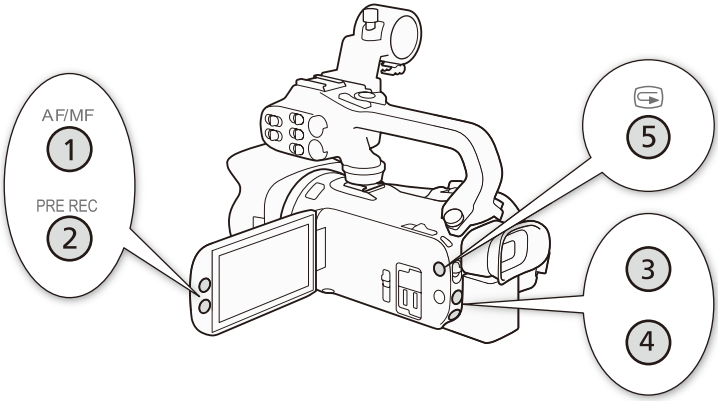
● CUSTOMボタンとCUSTOMダイヤルを操作して、操作2で割り当てた機能を調整する。

MEMO ● メニューの「CUSTOMダイヤル&ボタン」で機能を割り当てることもできます。

アサインボタンの機能を変更する CAMERA MEDIA

本機には5個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA



割り当て可能な機能

機能名	内容
パワードIS*1	パワードISのON/OFFを切り換える。
強制逆光補正*1	強制逆光補正のON/OFFを切り換える。
フェイスオンリー AF*1	フェイスオンリー AFのON/OFFを切り換える。
ビデオスナップ	ビデオスナップのON/OFFを切り換える。
WB 優先WB*1	優先ホワイトバランスのON/OFFを切り換える（158）。
プレ REC	プレRECのON/OFFを切り換える。
赤外ライト*2	INFRAREDモード時、赤外ライトのON/OFFを切り換える。
CH/CH オーディオ出力CH*2	CH1/CH2、CH1/CH1、CH2/CH2、All/Allを切り換える。
AF/MF AF/MF*1	AF（オートフォーカス）とMF（マニュアルフォーカス）を切り換える。
REC REVIEW レックレビュー	直前に撮ったシーンを再生する。
FUNC. 撮影モード*1	FUNC. メニューの「撮影モード」を表示する。
FUNC. 強制逆光補正*1	FUNC. メニューの「強制逆光補正」を表示する。
FUNC. ホワイトバランス*1	FUNC. メニューの「ホワイトバランス」を表示する。
FUNC. AGCリミット*1	FUNC. メニューの「AGCリミット」を表示する。
FUNC. フォーカス*1	FUNC. メニューの「フォーカス」を表示する。
FUNC. 露出*1	FUNC. メニューの「露出」を表示する。
FUNC. オーディオシーン	FUNC. メニューの「オーディオシーン」を表示する。
FUNC. マイクレベル*1	FUNC. メニューの「マイクレベル」を表示する。

機能名	内容
FUNC. ズーム	FUNC.メニューの「ズーム」を表示する。
FUNC. 手ブレ補正*1	FUNC.メニューの「手ブレ補正」を表示する。
FUNC. ピクチャー設定*1	FUNC.メニューの「ピクチャー設定」を表示する。
OFF 切	機能割り当てなし。

*1 **M**(マニュアル)モードまたはCINEMA(シネマ)モードでアサインボタンに設定後、AUTO(オート)モードに切り換えると、操作できません。
*2 使用するときは、ハンドルユニットHDU-1を取り付けてください(🕮 21)。

■ 機能を変更する

例：アサインボタン1にフェイスオンリー AFを割り当てる場合

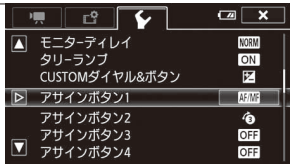
FUNC.

1 タッチする

MENU

2 フェイスオンリー AFを選ぶ

① MENU(メニュー)→[🔧]をタッチする。
② 上下にドラッグして、「アサインボタン1」をタッチする。
③ ▲/▼をタッチして「フェイスオンリー AF」をタッチする。



×

3 タッチする

■ アサインボタンを使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します

メニューデータの保存と読み出し CAMERA MEDIA

FUNC. メニュー、メニュー、シネマルックフィルター（📖 48）で行った各種の設定情報をメニューデータとしてカードBに保存することができます。メニューデータは必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

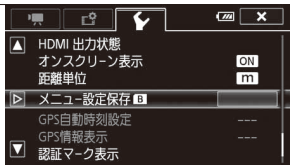
■ メニューデータをカードBに保存する

1 カードスロットBに保存先となるカードを入れる

FUNC. 2 タッチする

MENU 3 メニュー設定保存Bを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 B」をタッチする。
③「保存」→「はい」をタッチする。
● 現在のメニュー設定が、カードに保存される。
④「OK」をタッチする。



× 4 タッチする

■ メニューデータをカードから読み込む

カードに保存されているメニューデータを読み込んで本機に設定します。



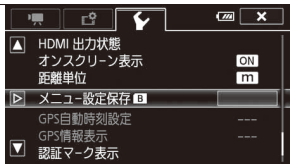
1 カードスロットBに読み込み元となるカードを入れる

FUNC.

2 タッチする

MENU

3 メニュー設定保存Bを選ぶ



① MENU（メニュー）→「 」をタッチする。
② 上下にドラッグして、「メニュー設定保存 B 」をタッチする。
③「読み込み」→「はい」をタッチする。

- カードから読み込んだメニューデータの内容に設定される。
- メニューデータが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。

MEMO
- メニューデータは、XA11とXA15の間で相互に読み込んで使用できます。一度読み込むと、共通のメニュー設定はすべて変更され、共通でないメニュー設定については、初期設定に戻ります。

MEMO

5 再生／編集

シーンを再生する 116
シーンを消す 120
シーンを分割する 122
シーンを切りとる 123

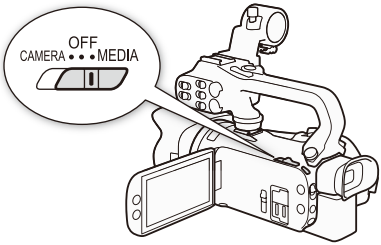
シーンを再生する CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（シーン）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（126）。

再生する

1 電源スイッチを「MEDIA」にする

● インデックス画面が表示される。



2 インデックス画面で見たいシーンを探す

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーン（77）には、が表示される。



3 必要に応じて、カードと動画形式を切り換える

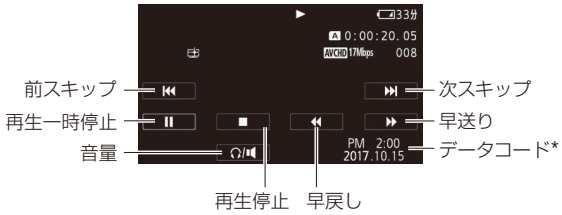


① A AVCHD をタッチする。
② タッチして、カードAとカードBを切り換える。
③ タッチして、AVCHD（AVCHD形式）とMP4（MP4形式）を切り換える。

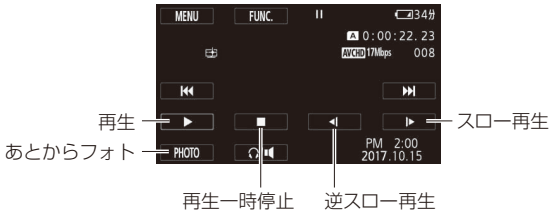
4 シーンをタッチする ▶ 再生開始

- タッチしたシーンの再 生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

再生中の操作



再生一時停止中の操作



* MP4形式の動画のときは記録が開始された日付が表示されます。

ボタン	操作
◀◀（早戻し） ▶▶（早送り）	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。
I◀◀（前へスキップ）	現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
▶▶I（次へスキップ）	次のシーンの先頭から再生する。
◀I（逆スロー再生） I▶（スロー再生）	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生／逆スロー再生中、音声は出ない。

音量を調整する



1. 再生中に画面をタッチ→「 /」をタッチする。
   ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
2. 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する→をタッチする。

シーン情報を表示する

シーン情報を表示することができます。

1. AVCHD形式またはMP4形式の動画インデックス画面でをタッチする。
2. シーンをタッチする。
3. を2回タッチする。



- 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示されます。

ご注意
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

MEMO
- 再生画面の日時表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます(📖 153)。表示される情報は、撮影データの種類によって異なります。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に出る倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。
- 「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーンを再生するときは、「ビューアシスト」(📖 155)をONにすると、より適切な映像を確認することが出来ます。また、外部モニターに接続して再生するときは、明るめに設定して再生することをおすすめします。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。

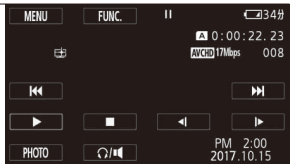
動画形式 AVCHD MP4

1 静止画を切りとるシーンを再生する（📖 116）

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする

画面上の❚❚をタッチする。

PHOTO 3 タッチする



MEMO
- 記録される静止画のサイズは1920×1080です。
- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日付と時刻が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「記録先」→「静止画記録先」で選んだカードに記録されます（📖 35、153）。

シーンを消す CAMERA MEDIA

消去

不要なシーンを複数選んでまとめて消すことができます。日付を指定して一括消去したり、表示しているメモリー内のすべてのシーンを消したりすることもできます。

動画形式 AVCHD MP4

ある日のシーン、選んだシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 消去するシーンを含むインデックス画面に切り換える（116）

特定の日に撮った全シーンを消すとき

左右にドラッグして、消去するシーンの日付を画面に出す。

FUNC. 2 消去を選ぶ

FUNC.→「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする



特定の日に撮った全シーンを消すとき*（操作5へ）

シーンを選んで消すとき

すべてのシーンを消すとき

* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。

実行 4 シーンを選んで消すとき シーンを選ぶ



① 消すシーンをタッチする。
- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消すシーンをすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

③ 実行をタッチする。

5 シーンを消す

① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。一部のシーンは消去される。

② 「OK」をタッチする。

■ 再生一時停止中のシーンを消す

II

1 消去するシーンを再生一時停止にする

① シーンをタッチする。
- 再生が始まる。

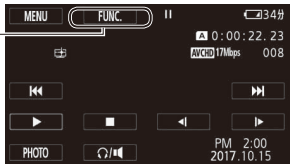
② 画面上をタッチ→IIをタッチする。
- 一時停止する。

FUNC.

2 消去する

① FUNC.→「消去」→「はい」をタッチする。
② 「OK」をタッチする。

例：AVCHD形式動画の場合



ご注意
- 一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください(138、140、143、145)。

MEMO
- カードに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化します(34)。

シーンを分割する CAMERA MEDIA

分割

AVCHD形式のシーンを分割できます。分割することで、不要なシーンを消去できます。

動画形式 AVCHD MP4

1 シーンを再生する（📖 116）

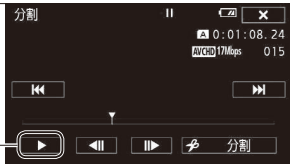
II 2 再生一時停止にする

画面上をタッチ→IIをタッチする。

FUNC. 3 分割を選ぶ

FUNC.→「分割」をタッチする。

▶ 4 分割する位置を決める



① 分割する位置を探す。
- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II ／ II▶	コマ戻し／コマ送り

② 分割する位置で一時停止にする。

✂ 5 分割する

「✂分割」→「はい」をタッチする。
- 分割した元のシーンの次に挿入される。

MEMO
- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合
- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。

シーンを切りとる CAMERA MEDIA

トリミング

MP4形式のシーンから不要な部分を切りとって消去できます。指定した位置より前、または後ろの部分を消去します。

動画形式 AVCHD MP4

1 シーンを再生する（116）

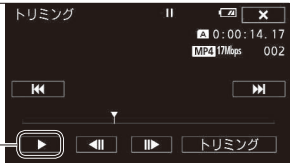
II 2 再生一時停止にする

画面上をタッチする→IIをタッチする。

FUNC. 3 トリミングを選ぶ

FUNC.→「トリミング」をタッチする。

► 4 切り取る位置を決める



① 位置を探す

● ►をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。

再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀II ／ II▶	コマ戻し／コマ送り

② 切りとる位置で一時停止にする。

5 シーンを切りとる

①「トリミング」をタッチする。
②「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。
③「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。

「新規保存」を中止するとき

「中止」をタッチする。

MEMO

6 接　続

外部モニターを接続する 126
音声出力を選択する 129

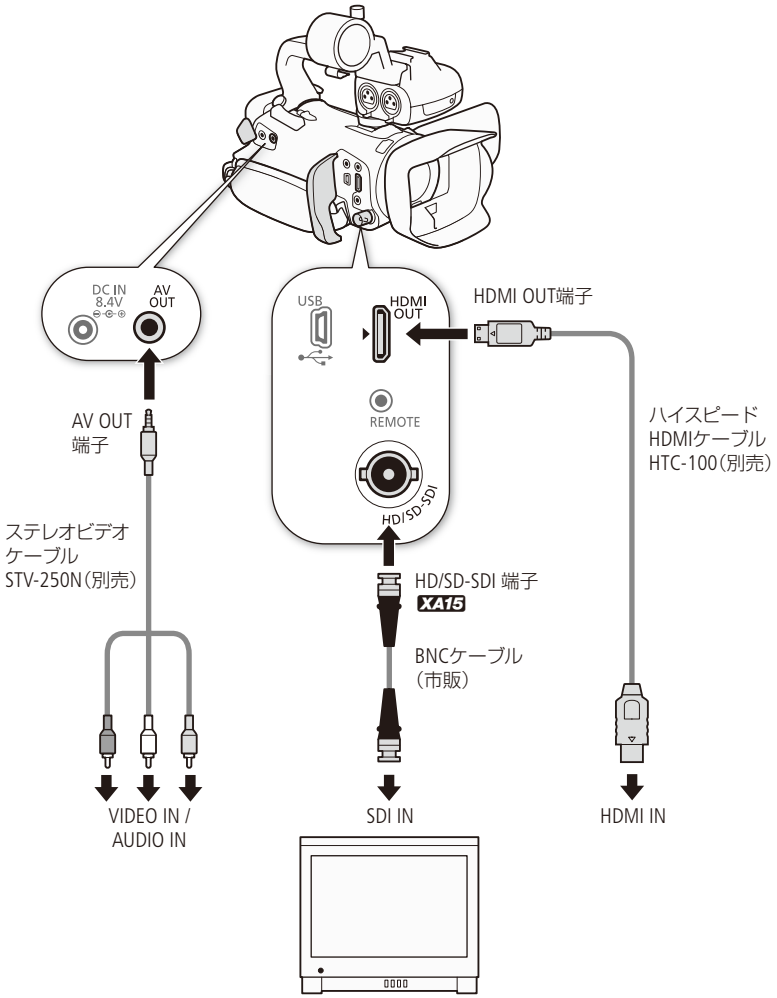
外部モニターを接続する CAMERA MEDIA

撮影・再生映像をモニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を選び本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します。

XA11 AV OUT端子とHDMI OUT端子の出力は自動的に切り換わります。

動画形式 AVCHD MP4 カメラモード AUTO M CINEMA

接続のしかた



MEMO ● コンパクトパワーアダプター(ACアダプター) を使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。

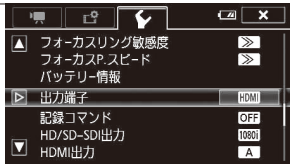
XA15 出力端子を選択する

使用する出力端子を選びます。

FUNC. 1 カメラモードのとき タッチする

MENU 2 出力端子を選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「出力端子」をタッチする。
③ いずれかを選ぶ。



OFF（切）	どの端子からも出力しない。
SDI HD/SD-SDI*	HD/SD-SDI端子からのみ出力される。
SDI&HDMI HD/SD-SDI & HDMI*	HD/SD-SDI端子とHDMI OUT端子から出力される。
HDMI HDMI*	HDMI OUT端子からのみ出力される。
AV AV OUT	AV OUT端子からのみ出力される。

* メニューで出力信号形式を選ぶ（156）。

× 3 タッチする

XA15 HD/SD-SDI端子を使用する

HD/SD-SDI端子から出力される映像信号は、オーディオ信号とタイムコード信号が重畳されます。画面表示を重畳することもできます（159）。

FUNC. 1 カメラモードのとき タッチする

MENU 2 HD/SD-SDI出力を選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「HD/SD-SDI出力」をタッチする。
③ いずれかの出力信号形式を選ぶ。



× 3 タッチする

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。「HDMI出力」の設定を「A（オート）」にすると、接続した外部モニターの性能に合わせて映像を出力します。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（159）。CAMERAモードの場合、音声は2chリニアPCM（16ビット、48kHz）で出力されます。

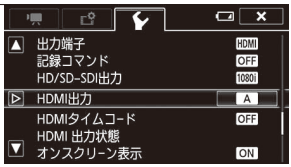
FUNC.

1 カメラモードのとき タッチする

MENU

2 出力信号形式を選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「HDMI出力」をタッチする。
③ いずれかの出力信号形式を選ぶ。



×

3 タッチする

MEMO

- XA15 メニューの「出力端子」で「HD/SD-SDI & HDMI」を選ぶと、「HD/SD-SDI 出力」と同じ信号形式になります。
- メニューの「HDMIタイムコード」を「入」にすると、HDMI OUT端子にタイムコードを重畳できます（カメラモードのみ）。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI OUT端子で接続していると、AV OUT端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、AV OUT端子を使って接続してください。
- 「HDMI出力」でA（オート）以外を選択したとき、設定した出力信号形式にモニターが対応していない場合、HDMI出力は停止します。

AV OUT端子を使用する

AV OUT端子からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。

音声出力を選択する

HD/SD-SDI端子（XA15）、HDMI OUT端子、AV OUT端子、🎧（ヘッドホン）端子から音声を出力できます。
AV OUT端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声はチャンネルを選択できます。

■ 映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ） CAMERA MEDIA

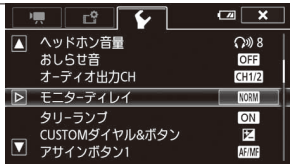
AV OUT端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声は、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを選択することができます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 タッチする

MENU 2 モニターディレイを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「モニターディレイ」をタッチする。
③ いずれかを選ぶ。



LINE（ライン出力）　映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。
NORM（ノーマル）　リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。

× 3 タッチする

■ 音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

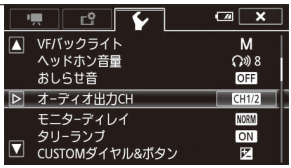
AV OUT端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。
CAMERAモードでは、INPUT端子切り換えスイッチをONにしているときのみ操作できます。

動画形式 AVCHD MP4　カメラモード AUTO M CINEMA

FUNC. 1 カメラモードのとき タッチする

MENU 2 オーディオ出力CHを選ぶ

① MENU（メニュー）→ をタッチする。
② 「オーディオ出力CH」をタッチする。
③ いずれかを選ぶ。



CH1/2	出力音声のL chにCH1を、R chにCH 2を割り当てる。
CH1/1	出力音声のL chとR chの両方にCH 1を割り当てる。
CH2/2	出力音声のL chとR chの両方にCH 2を割り当てる。
All/All	出力音声のL chとR chの両方にCH 1とCH 2をミックスした信号を割り当てる。

✕ 3 タッチする

MEMO ● アサインボタンに「オーディオ出力CH」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます（📖 110）。

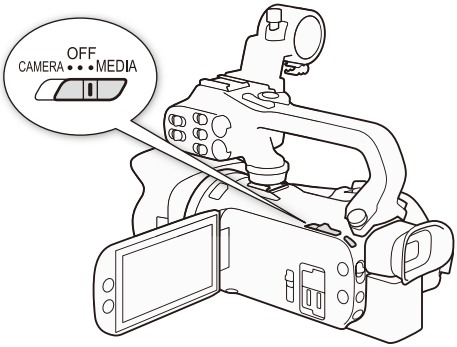
7 静止画

写真を見る 132
写真を消す 134

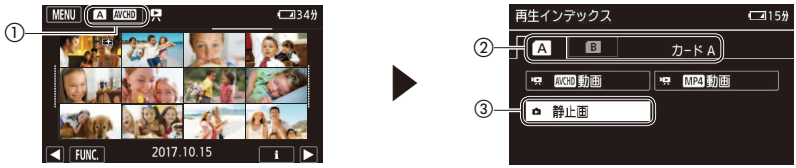
写真を見る CAMERA MEDIA

1 電源スイッチを「MEDIA」にする

● インデックス画面が表示される。



2 静止画の再生画面を表示する



3 見たい静止画を探す



4 静止画をタッチする

● 静止画が再生される（1枚表示画面）。
● 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
● 別売のGP-E2を使って撮影した場合はGPS情報も表示される。

■ 再生中に他の静止画にジャンプする（静止画ジャンプ）

1 静止画再生中 画面をタッチする

● 操作ボタンが出る。

2 タッチする



3 ジャンプバーのつまみを左右にドラッグする

● ジャンプ先の静止画が再生される。



4 タッチする

■ インデックス画面を出す

静止画再生中にインデックス画面に切り換える方法です。

1 静止画再生中 画面をタッチする

● 操作ボタンが出る。

2 タッチする



ご注意

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
- 本機以外の製品で記録したとき。
- パソコンで作成や加工をしたとき。
- パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す CAMERA MEDIA

静止画消去

不要な静止画は消去できます。再生中の静止画を消す方法と、選んだ静止画やすべての静止画をまとめて消す方法とがあります。

■ 再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 画面をタッチする

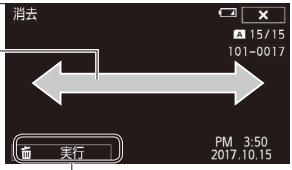
- 操作ボタンが出る。

FUNC. 🗑

2 消去を選ぶ

① FUNC. →「消去」をタッチする。
- 消去画面が出る。
- 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。

② 「🗑 実行」→「はい」をタッチする。



✕ 3 タッチする

■ ある日の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめて消す

1 消去する静止画を含む静止画インデックス画面に切り換える（🕮 132）

FUNC. 2 消去を選ぶ

FUNC. →「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日に撮ったすべての静止画を消すとき（操作5へ）

静止画を選んで消すとき

すべての静止画を消すとき



4 静止画を選んで消すとき 静止画を選ぶ



① 消す静止画をタッチする。
- 静止画が選択され✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

② ①の操作を繰り返して、消す静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

実行

5 静止画を消す

① 静止画を選んで消すとき 実行 をタッチする。
② 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部の静止画は消去される。

③ 「OK」をタッチする。

ご注意
- 一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

MEMO

8 撮影データの保存／共有

シーンをパソコンに保存する 138

ビデオ／写真をカードにコピーする ... 140

MP4形式の動画に変換する 143

BDレコーダーなどにダビングする ... 145

シーンをパソコンに保存する CAMERA MEDIA

本機で記録したAVCHD形式／ MP4形式の動画は、ソフトウェアData Import Utilityを使ってパソコンに保存できます。Data Import Utilityは、株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアのダウンロードや最新の情報については、株式会社ピクセラのウェブサイトをご覧ください。
http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_biz.html

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- シーンをパソコンに取り込む。
- リレー記録（🕮 45）を使用して分割されたシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。
- 4GBごとに分割されたAVCHD形式やMP4形式のシーンを1つのファイルに結合してパソコンに取り込む。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）*をご覧のうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれる[Manual]フォルダをご覧ください。

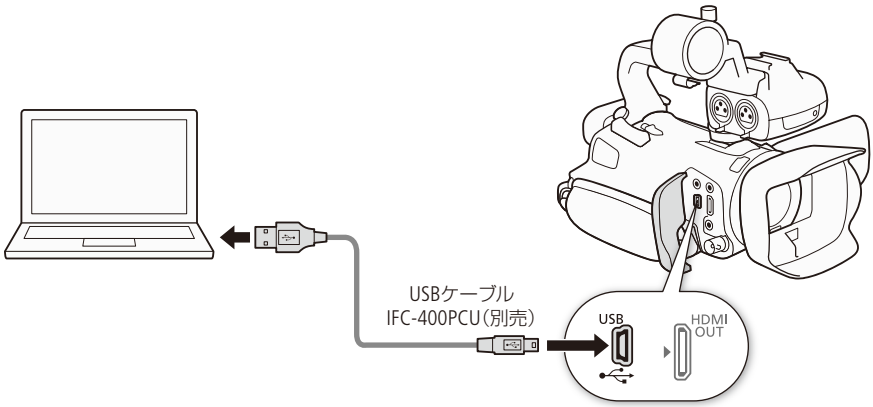
インストールと使いかた

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）をご覧ください。

ご注意

- ソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してシーンをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでシーンをパソコンに取り込めないことがあります。

パソコンに保存する



1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ



2 本機 MEDIAモードにする

3 本機 動画のインデックス画面を表示する（116）



4 本機とパソコンをUSBケーブル（別売）でつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「すべて（パソコン）」をタッチする。

- 左のアイコンをダブルクリックすると、パソコンの画面にData Import Utilityの起動画面が出る。

5 パソコン Data Import Utilityを操作してパソコンに取り込む

画面の案内に従って操作する。

参考 ▸▸ Data Import Utilityの取扱説明書（PDFファイル）

ビデオ／写真をカードにコピーする CAMERA MEDIA

コピー

カードに記録された動画や静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだシーンや静止画、すべてのシーンや静止画をまとめてコピーします。AVCHD形式の動画は特定の日に撮影したシーンをすべて、MP4形式の動画や静止画は日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーできます。

■ 動画をコピーする

1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードのインデックス画面を出す（📖 116）

特定の日に撮ったシーンをコピーするとき

左右にドラッグして、コピーするシーンの日付を画面に出す。

3 コピーを選ぶ

FUNC. A ➡ B B ➡ A

FUNC.→「コピー [A ➡ B]」または「コピー [B ➡ A]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする



特定の日に撮った全シーンをコピーするとき*

シーンを選んでコピーするとき

すべてのシーンをコピーするとき

* MP4形式の動画では「100_0101」のように日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。

5 シーンを選んでコピーするとき シーンを選ぶ



① コピーするシーンをすべてタッチする。

- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

② 実行をタッチする。

6 カードにコピーする



① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。

■ 静止画をコピーする

再生中の静止画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画を1枚表示する

- カードAまたはカードBに保存されている静止画を選ぶ。

3 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

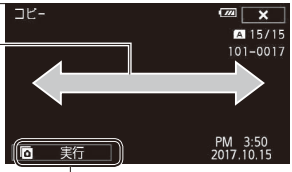
FUNC.

4 コピーする

① FUNC.→「コピー［A➡B］」または「コピー［B➡A］」をタッチする。

- コピー画面が出る。
- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

② 「実行」→「はい」をタッチする。



×

5 タッチする

静止画をまとめてコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードAまたはカードBの静止画インデックス画面を出す（132）

FUNC.

3 コピーを選ぶ

FUNC.→「コピー［A➡B］」または「コピー［B➡A］」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

特定の日に撮った全静止画をコピーするとき

静止画を選んでコピーするとき

すべての静止画をコピーするとき



実行

5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ

① コピーする静止画をすべてタッチする。
- 静止画が選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。



選択をすべて解除するとき 「全解除」→「はい」をタッチする。

② 実行 をタッチする。

6 カードにコピーする

① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。

② 「OK」をタッチする。



MEMO **コピーできない場合**

- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき（📖 154）。

- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。

MP4形式の動画に変換する CAMERA MEDIA

カードに記録したAVCHD形式やMP4形式の動画を、より容量の少ないMP4形式の動画に変換して、もう一方のカードにコピーします。インターネットにアップロードするときなどに便利です。変換するときに、シネマルックフィルター *を使うこともできます。

* 撮影時にシネマルックフィルターを使用した動画とMP4変換時にシネマルックフィルターを使用した動画では、効果が異なることがあります。

動画形式 AVCHD MP4

1 動画インデックス画面を表示する（📖 116）

FUNC.

2 MP4変換を選ぶ

① FUNC.→「MP4変換[A→B]」または「MP4変換[B→A]」をタッチする。

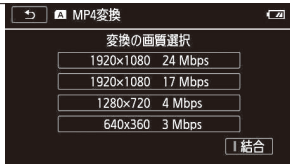


3 変換後の画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

複数のシーンを結合するとき

「結合」をタッチする。



4 シーンを選ぶ

① 変換するシーンをすべてタッチする。
- シーンが選択され、✓が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき 「全解除」→「はい」をタッチする。

② 実行をタッチする。
③「次へ」をタッチする。

FILTER 1

5 シネマルックフィルターを選ぶときタッチする

① FILTER 1をタッチする。
② いずれかを中央に表示してOKをタッチする。
- 解除するときは「FILTER X」をもう一度タッチする。



6 変換する



① 「START」をタッチする。
● MP4形式の動画に変換される。

中止するとき 「STOP」をタッチする。

② OK をタッチする。

MEMO 変換前の録画モードと変換後の画質／フレームレート

録画モード		MP4 変換			
		24 Mbps	17 Mbps	4 Mbps	3 Mbps
AVCHD	28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)	—			
	24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps	● (29.97P / 23.98P)			
MP4	35 Mbps (59.94P)	—			
	24 Mbps、17 Mbps	● (29.97P / 23.98P)			
	8 Mbps (59.94P)	—			
	4 Mbps	—		● (29.97P / 23.98P)	
	3 Mbps	—			● (29.97P / 23.98P)

■ フレームレートが59.94iのシーンを変換すると、29.97Pに変換されます。

● 以下のシーンは、結合してMP4変換できません。
AVCHD：「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」
MP4：「29.97P」と「23.98P」

● MP4変換中はすべての外部出力(126)を停止します

BDレコーダーなどにダビングする CAMERA MEDIA

撮影した映像をBD(ブルーレイディスク)レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

動画形式 AVCHD MP4

ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブルIFC-400PCU(別売)でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書などでご確認ください。

1 本機 コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)をつなぐ



2 本機 MEDIAモードにする

3 本機 AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する(📖 116)



4 本機とレコーダーをつなぐ

「接続するメモリーを選択してください」が出たとき

「カードA」、「カードB」のいずれかをタッチする。

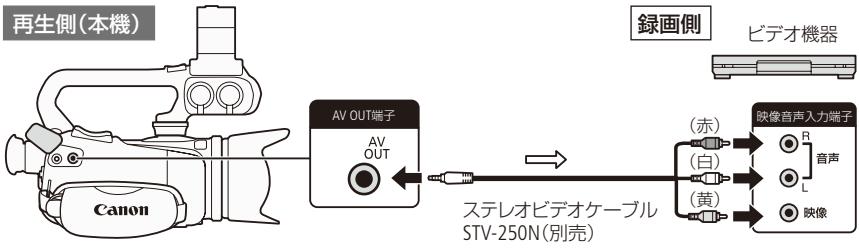
- ダビングする動画が記録されているカードを選ぶ。

5 レコーダー ダビングする

参考 ▸▸ お使いのレコーダーの説明書

■ 標準画質に変換してダビングする

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのDVDレコーダーなどにダビングできます。画質は標準画質に変換されます。



1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 XA15 AV OUT端子を選ぶ

- メニューの「出力端子」で「AV OUT」を選ぶ（📖 127）。

3 本機 AVCHD形式の動画のインデックス画面を表示する（📖 116）

4 レコーダー 録画一時停止状態にする

5 本機 シーンをタッチして再生する

- メニューの「データコード表示」で、画面の日時表示を変更することができる（📖 153）。

6 レコーダー 録画を始める場面で、録画操作をする

7 レコーダー 録画を終える

■ 8 本機 再生を終える

画面上をタッチ→[■]をタッチする。

9 メニュー

FUNC. メニューの紹介 148

メニューの紹介 150

FUNC.メニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNC. メニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。ご購入時、FUNC.メニューは ..... がついた内容に設定されています。各機能の詳細は、🕮欄のページをご覧ください。他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ 撮影時に使う「FUNC.メニュー」

機能	設定内容	AUTO	M	CINEMA	🕮
MENUメニュー	—	●	●	●	30
撮影モード	P（プログラムAE）、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）、Mマニュアル露出		●	●	66
	ポートレート、スポーツ、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、ローライト、スポットライト、打上げ花火		●		75
強制逆光補正	ON（入）、OFF（切）		●	●	72
WBホワイトバランス	AWBオート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、K色温度、1セット1、2セット2		●	●	73
AGCAGCリミット	A（オート）、M（マニュアル）		●	●	65
フォーカス	MF（マニュアルフォーカス）：ON、OFF タッチフォーカス		●	●	50
	PEAKピーキング：ON、OFF ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー		●	●	52
	SET フォーカス位置のプリセット／キャンセル ON プリセット位置へのフォーカス移動		●	●	51
露出	M（マニュアル）：ON、OFF タッチ露出：ノーマル、ハイライト		●	●	68
	ゼブラパターン：ON、OFF ／ 70%、100%		●	●	69
AUDIOオーディオシーン*1*2	STDスタンダード、音楽、スピーチ、森と野鳥、ノイズカット	●	●	●	90
	♪cカスタム		●	●	
マイクレベル*1	A（オート）、M（マニュアル） オートのとき：レベルメーター 入/切		●	●	92
ZOOMズーム*2	ズーム操作、START/STOP（動画撮影/停止）	●	●	●	57
	PHOTO（静止画撮影）	●	●		
手ブレ補正	ダイナミック、スタンダード、切		●	●	64
ピクチャー設定	ON（入）、OFF（切） ルック（スタンダード、高輝度優先、Wide DR）、色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさ		●		77

*1 動画撮影時のみ。

*2 AUTO（オート）モードに切り換えたとき、M（マニュアル）モードまたはCINEMA（シネマ）モードで設定した内容が保持されます（オーディオシーンはカスタムを除く）。

再生時に使う「FUNC.メニュー」

1シーンごと、選んだシーン、全シーン、特定の日に撮ったシーンなど、表示している画面によって、操作できる動画／静止画の数が異なります。

動画の機能	インデックス画面 動画	インデックス画面からの再生ー時停止中	🕮
コピー *1 [A➡B] ／ [B➡A]	ある日に撮ったシーン、選択シーン、全シーン	—	140
MP4変換 [A➡B] ／ [B➡A]	選択したシーン	—	143
消去	ある日に撮ったシーン、選択したシーン、全シーン	1シーン	120
分割	—	●	122
トリミング	—	●	123

静止画の機能	静止画		🕮
	インデックス画面	再生中	
コピー [A➡B] ／ [B➡A]	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	141
消去	ある日に撮った静止画、選択した静止画、全静止画	1枚	134

メニューの紹介

撮影／再生のモードによって設定できる機能が異なります。設定できる機能は表中に●で示しています。ご購入時は、.....の内容に設定されています。各機能の詳細は、🕮欄のページかまたは欄外に説明があります。設定のしかたについては「メニューの設定を変える」(🕮 30)をご覧ください。

カメラ設定

機能	設定内容		🕮
デジタルズーム	OFF 切、400x 400x	●	—
	ZOOM デジタルテレコン	●	63
ソフトズームコントロール	OFF 切、START スタート、STOP ストップ、START STOP スタート&ストップ	●	62
ズームスピードレベル	ハイ、ミドル、ロー	●	58 61
グリップズームスピード	VAR (可変速)、CONST (固定速) ／固定速：1 ～ 16(8)	●	58
ハンドルズームスピード	OFF (切)、CONST (固定速) ／固定速：1 ～ 16(8)	●	60
ハイスピードズーム	ON 入、OFF 切	●	—
AFモード	S.AF ハイスピードAF、M.AF ミディアムスピードAF、AF ノーマルAF	●	53
フォーカスアシスト	ON 入、OFF 切	●	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	●	55
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	●	—
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	●	—
フリッカー低減	OFF 切、A オート	●	—
NDフィルター	A オート、OFF 切	●	—
コンバージョンレンズ	Tele TL-H58、Wide WA-H58、OFF 切	●	—
マルチシーンIS	パワードISあり、パワードISなし	●	41
マーカー表示	OFF 切、水平 (グレー)、水平 (黒)、 グリッド (グレー)、グリッド (黒)	●	—
赤外ライト	ON 入、OFF 切	●	—
赤外撮影色	WHITE 白、GREEN 緑	●	104
内蔵マイクウィンドカット	H オートハイ、L オートロー Low、OFF 切	●	95
内蔵マイクアッテネーター	A オート、ON 入、OFF 切	●	95
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル、LB 低域強調、LC 低域カット、 MB 中域強調、LHB 低高域強調	●	95
内蔵マイク指向性	2ch MONO モノラル、NORM ノーマル、2ch WIDE ワイド、2ch ZOOM ズーム	●	93
MICアッテネーター	A オート、ON 入、OFF 切	●	97
MICローカット	ON 入、OFF 切	●	97
MIC端子入力選択	LINE 外部音源、MIC マイク	●	97
CH2入力	INPUT1 INPUT 1、INPUT2 INPUT 2、INT/MIC 内蔵マイク/MIC	●	85

機能	設定内容		
INPUT 1　マイクトリミング	+12dB +12 dB、+6dB + 6dB、0dB 0 dB、-6dB -6 dB、-12dB -12 dB	●	87
INPUT 2　マイクトリミング	+12dB +12 dB、+6dB + 6dB、0dB 0 dB、-6dB -6 dB、-12dB -12 dB	●	87
INPUT 1　マイクアッテネーター	ON 入、OFF 切	●	88
INPUT 2　マイクアッテネーター	ON 入、OFF 切	●	88
INPUT 1/2　ALCリンク	LINK 連動、SEP. 独立	●	86
INPUT 1/2　リミッター	ON 入、OFF 切	●	87

デジタルズーム

デジタルズームの倍率（最高倍率）を選びます。

- デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。

フォーカスアシスト

マニュアルフォーカス（🕮 50）でピントを調整しやすくするために、画面の中央を拡大し、くっきりと表示します。

- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると拡大表示は解除されます。

自動逆光補正

「入」にすると、カメラが自動的に逆光の被写体を検出して補正します。被写体の順光／逆光の状態が変わるときに便利です。

- 「ピクチャー設定」の「ルック」が「スタンダード」以外のときは、使用できません。

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。なお、「フレームレート」（🕮 46）が「PF29.97」または「29.97P」のときは1/15秒までのスローシャッターに、「23.98P」のときは1/12秒までのスローシャッターに設定されます。
- AUTO（オート）モードや赤外撮影のとき、または撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に（手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

フリッカー低減

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正することができます。

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。

NDフィルター

NDフィルターを有効にします。

A（オート）にすると、F4.0のときにNDフィルターが挿入されます。

撮影モードがSCN（シーン）モード以外のときに設定できます。

コンバージョンレンズ

別売のテレコンバーター TL-H58（テレコン）やワイドアタッチメントWA-H58を取り付けるときに設定すると、それぞれのアクセサリーに合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わります。最至近撮影距離は、テレコンバーターの使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドアタッチメントの使用時において約60cmです。「WA-H58」のときは、ズーム表示はズームバーの途中で止まります。

- ワイドアタッチメントWA-H58を取り付けると、約0.75倍までの広角撮影ができます。
- 設定に応じて、画面に表示される距離情報が変更されます。コンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にしてください。
- 「切」以外に設定すると、メニューの「AFモード」が自動的に「ノーマルAF」に設定されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- マーカーは、撮影した動画／静止画には表示されません。

赤外ライト

「入」にすると、Infraredモード中に赤外ライトが点灯します。赤外ライトを使用するときは、ハンドルユニットHDU-1（付属）を取り付けてください（🕮 21）。

再生設定

機能	設定内容			
データコード表示	AVCHD ／ : OFF 切、日付、時刻、日付&時刻、カメラデータ MP4 : OFF 切、日付	●	●	—
テレビタイプ	4:3 4:3テレビ、16:9 ワイドテレビ	●	●	—

データコード表示

日付や時刻、カメラデータ（しぼり値やシャッタースピード）など、表示する撮影情報（103）を選びます。

テレビタイプ

ステレオビデオケーブルSTV-250N（別売）でテレビにつないで見るときに、接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4：3 テレビ	4：3 テレビに接続するときに選ぶ。
ワイドテレビ	16：9ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- 「4:3 テレビ」に設定しているとき、16:9で撮影した映像を再生すると、画面に表示される映像が小さくなります。

記録設定

機能	設定内容				
動画形式	AVCHD AVCHD、MP4 MP4	●			36
録画モード	AVCHD：28 Mbps LPCM (59.94P)、28 Mbps (59.94P)、24 Mbps LPCM、24 Mbps、17 Mbps、5 Mbps MP4：35 Mbps (59.94P)、24 Mbps、17 Mbps、8 Mbps (59.94P)、4 Mbps、3 Mbps	●			43
記録先	動画記録先：Ⓐカード A、Ⓑカード B	●			35
	静止画記録先：Ⓐカード A、Ⓑカード B	●	●	●	
同時記録 / リレー記録	通常記録、同時記録、リレー記録	●			45
フレームレート	AVCHD：59.94i 59.94i、PF29.97 PF29.97、23.98P 23.98P MP4：29.97P 29.97P、23.98P 23.98P	●			46

機能	設定内容				
Slow & Fastモーション	フレームレートが59.94Pのとき： OFF、x2、x2.5 フレームレートが29.97Pのとき： OFF、x0.5、x1.25、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x1200 フレームレートが23.98Pのとき： OFF、x0.4、x0.8	●			47
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒	●			101
タイムコードモード	PRESET Preset、REGEN. Regen.	●			79
タイムコードラン	REC RUN Rec Run、FREE RUN Free Run	●			79
DF / NDF	DF DF、NDF NDF	●			80
タイムコードスタート値	00:00:00.00 ～ 23:59:59.29	●			79
ユーザービット出力モード	FIXED 固定値、PULLDOWN プルダウン	●			81
ユーザービットタイプ	SET 設定、TIME 時刻、DATE 日付	●			81
カラーバー	OFF 切、SMPTE SMPTE、ARIB ARIB	●			99
1 kHz トーン	-12dB －12 dB、-18dB －18 dB、-20dB －20 dB、OFF 切	●			99
ファイル番号	オートリセット、通し番号	●	●	●	—
メモリー残量表示	A、B	●			—
メモリー使用量表示	A、B		●	●	—
初期化SD	A カードA、Bカード B	●	●	●	34

ファイル番号

個々のMP4動画／静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付けかたを選びます。撮影されたMP4動画／静止画は、自動的に100-0001、100-0002、100-0003のように順に番号が付けられ、カード内のフォルダーに保存されます。

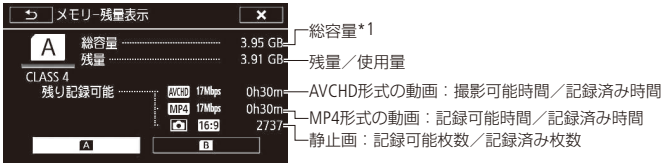
オートリセット	初期化されたカードに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。カード内にすでにMP4動画／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	ファイル番号は、最後に記録したMP4動画／静止画の続き番号から始まる。ただし、カードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーにはMP4動画と静止画を合わせて500個までのファイルを保存することができ、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

- ファイル番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4動画／静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
  * ファイル番号の範囲は、上3桁が100 ～ 999、下4桁が0001 ～ 9999です。
- 自動的に日付がフォルダー名として付けられます。5月1日に記録したカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「100-0107」の場合、「DCIM ￥100_0501」というフォルダーの中に「MVI_0107.MP4」または「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

メモリー残量表示／メモリー使用量表示

カードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*1、静止画の記録枚数/記録可能枚数*1を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。



例：メモリー残量表示／カードAを選択した場合を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズ（1920×1080）をもとに算出します。

その他機能

機能	設定内容				
言語	日本語、ENGLISH	●	●	●	—
エリア／サマータイム	エリア：（自宅）、（旅行先） サマータイム：ON、OFF	●	●	●	—
日付／時刻	日付/時刻：—　日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	●	●	●	29
ビューアシスト	ON 入、OFF 切	●	●		78、116
液晶明るさ調整	☀ ▬ ☀	●	●	●	—
液晶バックライト	H 高輝度、M 通常、L 低輝度	●	●	●	—
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	●			—
VFバックライト	H 高輝度、M 通常	●	●	●	—
ヘッドホン音量	🎧 ▬ 🎧、OFF [0 ～ 15(8)]	●	●	●	98
スピーカー音量	🔊 ▬ 🔊、OFF [0 ～ 15(8)]		●	●	118
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	—

機能	設定内容				
オーディオ出力CH	CH1/2 CH1/CH2、CH1/1 CH1/CH1、CH2/2 CH2/CH2、All/All All/All	●	●	●	130
モニターディレイ	LINE ライン出力、NORM ノーマル	●			129
タリーランプ	ON 入、OFF 切	●	●	●	—
CUSTOMダイヤル&ボタン	Tv Tv/Av、M マニュアル露出、AGC AGCリミット、露出、OFF 切	●			108
アサインボタン1 ～ アサインボタン5	パワードIS、強制逆光補正、フェイスオンリー AF、ビデオスナップ、WB 優先WB、プレ REC、赤外ライト、CH/CH オーディオ出力CH、AF/MF AF/MF、REC REVIEW レックレビュー、FUNC. 撮影モード、FUNC. 強制逆光補正、FUNC. ホワイトバランス、FUNC. AGCリミット、FUNC. フォーカス、FUNC. 露出、FUNC. オーディオシーン、FUNC. マイクレベル、FUNC. ズーム、FUNC. 手ブレ補正、FUNC. ピクチャー設定、OFF 切 初期設定： アサインボタン1　AF/MF AF/MF アサインボタン2　プレ REC アサインボタン5　REC REVIEW レックレビュー	●			110
パワードISボタン	ON 押し続け、ON/OFF ON/OFF切り換え	●			—
優先WB登録	AWB オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、K 色温度、1セット1、2セット2	●			—
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、REV リバース	●			—
フォーカスリング敏感度	ハイ、ミドル、ロー	●			—
フォーカスP.スピード	ハイ、ミドル、ロー	●			—
バッテリー情報	—	●	●	●	—
XA15 出力端子	OFF 切、SDI HD/SD-SDI、SDI&HDMI HD/SD-SDI&HDMI、HDMI HDMI、AV AV OUT	●	●	●	123
記録コマンド	ON 入、OFF 切	●			42
XA15 HD/SD-SDI出力	480i 480i、720P 720P、1080i 1080i	●	●	●	123
HDMI出力	A オート、480i 480i、480P 480P、720P 720P、1080i 1080i、1080P 1080P	●	●	●	123
HDMIタイムコード	ON 入、OFF 切	●			—
HDMI出力状態	—	●	●	●	—
オンスクリーン表示	ON 入、OFF 切	●	●	●	—

機能	設定内容				
距離単位	m メートル、ft フィート	●	●	●	—
メニュー設定保存 B	保存、読み込み	●			112
GPS自動時刻設定*	切、自動更新	●			—
GPS情報表示*	緯度、経度、標高、UTC、衛星補足状態のリアルタイム表示	●			—
認証マーク表示	—	●	●	●	—
Firmware	—	●			—
設定初期化	—	●	●	●	—

* GPSレシーバー GP-E2(別売)を取り付けているときのみ。

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア／サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。設定は、🏠または✈を選んだあと、(▲)または(▼)をタッチして地域を選びます。選んだ地域がサマータイムを導入しているときは☀(サマータイム)をONにします。

液晶明るさ調整

液晶モニターの明るさを調整します。

- ✵または✵をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト
VFバックライト

液晶モニターの明るさを3段階で、ビューファインダーの明るさを2段階でそれぞれ切り換えます。
記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

液晶対面ミラー

液晶モニターの画面をレンズ側に向けると左右が反転し、被写体に鏡を見ているような映像を見せながら撮ることができます。

おしらせ音

「🔊大」または「🔉小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴ります。

- プレREC(📖102)を「ON」にしていると、おしらせ音は鳴りません。

タリーランプ

「入」にすると、撮影時、バッテリー消耗時、およびカード空き容量がないときに、タリーランプが点灯または点滅します。「切」にすると、タリーランプは点灯／点滅しません。ハンドルユニットHDU-1（付属）を取り付けているときに使用できます。

パワードISボタン

アサインボタン（🕮 110）に割り当てたパワードISの操作のしかたを選びます。

押し続け	ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。
ON/OFF切り替え	ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。

優先WB登録

ホワイトバランスの良く使う調整方法を登録する。アサインボタンの「WB優先WB」を押したときに、現在のホワイトバランスの設定と「優先WB登録」で選んだ設定を切り換えることができます。

フォーカスリング操作方向

フォーカス／ズームリングの操作方向を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

フォーカスリング敏感度

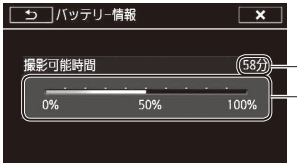
フォーカス／ズームリングの敏感度を設定します。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効です。

フォーカスP.スピード

フォーカスプリセットのスピードを設定します。

バッテリー情報

バッテリーの残量（%）と撮影／再生可能時間（分単位まで）を確認できます。



● バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

HDMIタイムコード

「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します（カメラモードのみ）。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

オンスクリーン表示

画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示します。

距離単位

以下のときに表示される単位を選びます。

- マニュアルフォーカスでピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GPSレシーバー GP-E2使用時の標高表示。

GPS自動時刻設定

GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に更新します。日時の更新は、GP-E2に接続したときに一度だけ行われます。動画撮影中は更新しません。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」のページも合わせてご確認ください。

GPS情報表示

機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。通常は灰色で表示されます。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

MEMO

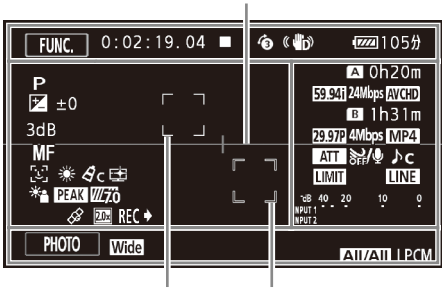
10 その他

画面の見かた 162
トラブルシューティング 165
メッセージが出たら？ 170
安全上のご注意 174
取り扱い上のご注意 176
日常のお手入れ 180
海外で使う 181
アクセサリー紹介 183
主な仕様 185
索引 193
修理対応について 197

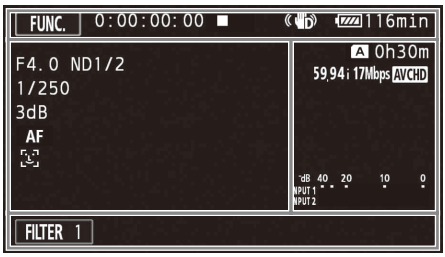
画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。

■ 撮影時の画面表示



CINEMA（シネマ）モード



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
AUTO	こだわりオート（🕮40）
P、Tv、Av、M、🎞、🎞、🎞、🎞、🎞、🎞、🎞、A、✳／IR／OFF、ON	撮影モード（🕮66）／Infraredモード（🕮104）／赤外ライト（🕮104）
F00.0 ND1/0	F値／NDフィルター（🕮152）
±	露出（🕮70）
1/0000	シャッタースピード（🕮66）
00dB	AGCリミット（🕮65）／ゲイン（🕮68）
S.AF、M.AF、AF、MF	フォーカス／AFモード（🕮50、53）
、	フェイスキャッチ＆追尾／フェイスキャッチオンリー AF（🕮55）

アイコン／表示	説明
✳、🏠、☁、✳、✳、✳、K、🎨1、🎨2	ホワイトバランス（🕮73）
、	ピクチャー設定／高輝度優先（🕮77）
	強制逆光補正（🕮72）
PEAK、PEAK	ピーキング（🕮52）
70、100	ゼブラパターン（🕮69）
	GPS（🕮105） GPSレシーバー GP-E2（別売）装着時のみ。
	デジタルテレコン（🕮63）
REC➔、STBY➔	記録コマンド（🕮41）

画面の上側

アイコン／表示	説明
FUNC.、PHOTO	FUNC.メニュー表示（📖30）／静止画記録（📖38）
0:00:00.00	タイムコード（時：分：秒：フレーム数）（📖79）
■、●	撮影状況（📖38） ■：撮影停止中、 ●：撮影（録画）
2sec、4sec、8sec	ビデオスナップ（📖101）
	プレREC（📖102）
、、	手ブレ補正／パワードIS（📖64）
、、 、、 （赤色）	バッテリー残量の目安 は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがあります。

画面の右側

アイコン／表示	説明
A / B 0h00m	撮影可能時間
A / B END（赤色）	カード残量なし
A / B 0h00m	リレー記録／撮影可能時間（📖45）
59.94P、59.94i、PF29.97、29.97P、23.98P	フレームレート（📖46）
00Mbps	録画モード（📖43）
AVCHD、MP4	動画形式（📖36）
/ x0000.00	スロー＆ファストモーション記録／倍速（📖47）
ATT、ATT OFF	マイクアッテネーター（📖95）
Low、OFF	内蔵マイクウィンドウカット（📖95）
、、、、	オーディオシーン（📖90）
LIMIT	INPUT 1/2リミッター（📖87）

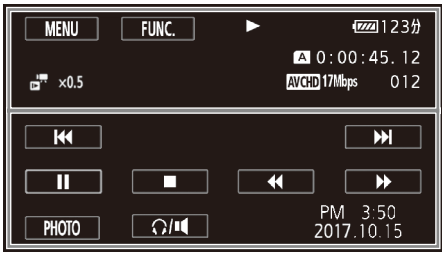
アイコン／表示	説明
LINE	MIC端子入力選択（📖89）
dB 40 20 10 0 INPUT 1 INPUT 2	レベルメーター（📖86、92）
START、STOP	撮影開始／撮影停止（📖38） ズーム画面に表示

画面の下側

アイコン／表示	説明
PHOTO	静止画記録（📖38）
FILTER 1	シネマルックフィルター（📖48）
Tele、Wide	コンバージョンレンズ（📖150）
CH1/1、CH2/2、All/All	オーディオ出力CH（📖130）
LPCM	音声記録形式（📖43）

再生時の画面表示

動画のとき



静止画のとき



画面の上側

アイコン／表示	説明
MENU	MENU メニュー表示（📖30）
FUNC.	FUNC. メニュー表示（📖30）
▶、❚❚	再生状況
LPCM	音声記録形式（📖43）
A / B 0:00:00.00	カード／タイムコード
A / B 000/000	静止画の表示枚数／全枚数
A / B x0000.00	スロー &ファストモーション記録／倍速（📖47）
	高輝度優先（📖77、116）
AVCHD、MP4	動画形式（📖36）
00Mbps	録画モード（📖43）
000	再生シーン番号
000-0000	MP4動画／静止画のファイル番号（📖154）

画面の下側

アイコン／表示	説明
⏮、⏭、▲▼、▶、■、◀◀、◀❙、▶▶、❙▶	操作ボタン（動画）（📖116）
PHOTO	あとからフォト（📖119）
	ヘッドホン音量（📖98）／スピーカー音量（📖118）
▶、、	操作ボタン（静止画）（📖132）
AM / PM 00:00 yyyy.mm.dd F00.0 1/0000	データコード（📖153）

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（🕮 197）またはご購入になった販売店にご相談ください。

■ まずココを確認しよう！

電源

□ バッテリーは充電されていますか？（🕮 18）
□ 本機はコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）で正しく接続されていますか？（🕮 18）

撮影するとき

□ 電源を入れてCAMERAモードにしていますか？MEDIAモードになっているときはCAMERAモードに切り換えてください。（🕮 26）
□ 本機にカードが入っていますか？（🕮 32）

再生するとき

□ 電源を入れてMEDIAモードにしていますか？CAMERAモードになっているときは、MEDIAモードに切り換えてください。
□ 本機にカードが入っていますか？（🕮 32）

その他

□ 本機を振るとカタカタ音がするときは？ CAMERAモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

■ 電源

こんなときは	どうするの？	🕮
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン推奨以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	18 197
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）から音がする。	● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	🕮
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 ● MP4形式の動画や、静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	— 34 120 176
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	50 180
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／ ■撮影停止／ ▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	34 138 140 143 145
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	34 138 140 143 145
動画撮影中、静止画を記録できない。	● CINEMA（シネマ）モードのときは静止画を記録できない。	—
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	197

再生中

こんなときは	どうするの？	🕮
シーンの消去ができない。	● 他機で記録・編集したシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	34 138 140 143 145
シーンを分割できない。	● 他機で記録・編集したシーンは分割できない。 ● カードに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 120 134
シーンまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したシーンや静止画はコピーできないことがある。	—
シーンまたは静止画を選択できない。	● シーンや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	🕮
画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● メニューの「タリーランプ」を「入」にする。	158
タリーランプが早く点滅する。 1秒間に4回の点滅	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● カードに空き容量がない、別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す	18 120 134
Aまたは Bが赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	33 34 120 134
Aまたは Bが赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	120 134
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
充電中にCHGランプが速く点滅する。（0.5秒に1回の点滅）	● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	197

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	🕮
画面が暗い。	● 「液晶明るさ調整」または「液晶バックライト」で明るさを調整する。	157
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	11 18
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	176
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。メニューの「フリッカー低減」を「A オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがある。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を選んでください。	152 66
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	23
ビューファインダーに映像が出ない。	● 液晶モニターを閉じて、ビューファインダーを引き出す。	23
音声が記録されない	● INPUT端子切り換えスイッチが正しく切り換えられてない。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT端子入力切り換えスイッチを「MIC+48V」に切り換えていない。 ● MIC端子にマイクを取り付けているが、マイクのスイッチがOFFになっている。または、マイクの電池が切れている。 ● 音声レベルが正しく設定されていない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● マイクレベルを手動で調整する。	92
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。	118 —

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	🕮
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	33
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	33 120 134
	● はじめて使用するときは、カードを初期化する。	34
	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。	33
	● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。	32
	● MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	176

他機

こんなときは	どうするの？	🕮
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル（別売）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● 「HDMI出力」で A（オート）以外を設定しているとき、接続したモニターが、設定した出力信号形式に対応していない。対応する出力信号形式に設定する、または A（オート）にする。	126
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（macOS）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。	—
	● カードリーダーなどを使って取り込む。	

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

メッセージ	どうするの？	📖
23.98Pと29.97P(59.94iと23.98P)(PF29.97と23.98P)のシーンは結合変換できません	● 「23.98P」と「29.97P」、「59.94i」と「23.98P」、「PF29.97」と「23.98P」の組み合わせで、シーンを結合してMP4変換することはできない。結合を解除してMP4変換する。	143
59.94Pのシーンは変換できません	● 59.94Pのシーンは変換できない。	143
空き容量が不足しています	● カードの不要なシーンや静止画を消去する。 ● 「録画モード」がAVCHDの場合は「5 Mbps」、MP4の場合は「3 Mbps」に設定する。 ● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。	120 134 43 140
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	33
カードがありません	● カードを本機に入れる。	33
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	33 120 134
カード シーン数がいっぱいです	● カードにAVCHD形式の動画が3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要なシーンを消す。	120
カード テレビ方式が異なります 認識できません	● カードに記録されている動画のテレビ方式が異なるため再生できない。	
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードA(B)に書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？ 最大約3分かかります	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「修復する」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	33
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	33

メッセージ	どうするの？	🕮
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 * 録画モードが「28 Mbps LPCM」や「28 Mbps」、「35 Mbps」のときはSDスピードクラス6、10のカードを使用する。 ● Slow & Fastモーション記録の使用時は、クラス10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを初期化してから使用する。	32 34
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えてⒶまたはⒷが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。ⒶまたはⒷが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	33 — 32 33 34 138 140 143 145
画像がありません	● 静止画を撮影する。	38
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	34
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2のカードを入れた。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。	32
このカードでは録画モード「59.94P記録モード」以外を推奨します	● SDスピードクラス4のカードを使用する場合、録画モードを「28 Mbps LPCM」／「28 Mbps」／「35 Mbps」(いずれも59.94P)にすると、動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードは動画記録できません	● 64 MB以下のカードは動画の記録ができない。推奨のカードを入れる。	32
このシーンは変換できません	● 動画のテレビ方式が異なるため変換できない。 ● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした動画を変換できない。 ● 4MbpsのMP4は4Mbpsまたは3Mbpsにしか変換できない。 ● 3MbpsのMP4は3Mbpsにしか変換できない。	143
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 64 MB以下のカードは動画の再生ができない。推奨のカードを入れる。	32

メッセージ	どうするの？	🕮
再生できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	34
再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	34
使用するにはカメラモードをマニュアルまたはシネマに切り換えてください	● AUTO（オート）モードでは使用できないCUSTOMダイヤル＆ボタンまたはアサインボタンを操作した。**M**（マニュアル）モードまたはCINEMA（シネマ）モードに切り換えて操作する。	108 110
シーンがありません	● 動画を撮影していないならば、撮影する。	38
シーン数がいっぱいです	● AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。	120
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
静止画像が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● カードに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードにコピーしたあと、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す（Windows：2500枚未満。macOS：1000枚未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。	—
	● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	
テレビ方式が異なります 認識できません	● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない	
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、カードを初期化する。	34 138 140 143 145
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	138 140 143 145
トリミングできません	● MP4撮影時に使用したカードのクラスタサイズより大きなクラスタサイズのカードにコピーしたシーンはトリミングできない。 ● 他機で記録したり、コピーしたりしたシーンはトリミングできない。	123

メッセージ	どうするの？	🕮
USB接続 電源をはずさないでください パソコンで安全な取り外しをするまではUSBケーブルをぬかないでください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。カードのデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。	—
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	197
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	18
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4形式の動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4形式の動画と静止画をすべて消す。	34 120 134 176
分割できません 分割できません 初期化が必要です	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。不要な動画と静止画を消して、再度分割を行う。	34 120 134
本機で記録したシーンではありません コピーできません （分割できません）	● 他機で記録したシーンはコピー、分割できない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で初期化してお使いください	● カードを本機で初期化する。	34

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。ぬらさない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。


禁止

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 液漏れしたものは使わない。
  液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
  感電、破裂、火災の原因となります。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやACアダプター（コンパクトパワーアダプター）を使うときは、次のことに注意する。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。



電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

⚠注意　傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

長い時間、ファインダーや画面を見続けない
乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

ビデオカメラやビューファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズバリアを閉じてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない
➔ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない
➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

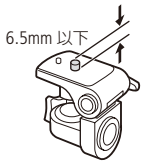
ボールペンなど、とがったものでタッチしない
➔ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない
➔ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

保護シートなどを貼らない
➔ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。



■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（🕮 184）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

POINT 使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10 ℃ ～ 30 ℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30 ℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② 本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。
譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（🕮 34）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？
周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは
バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

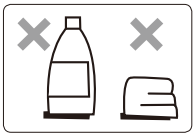
日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

本体がよごれたときは

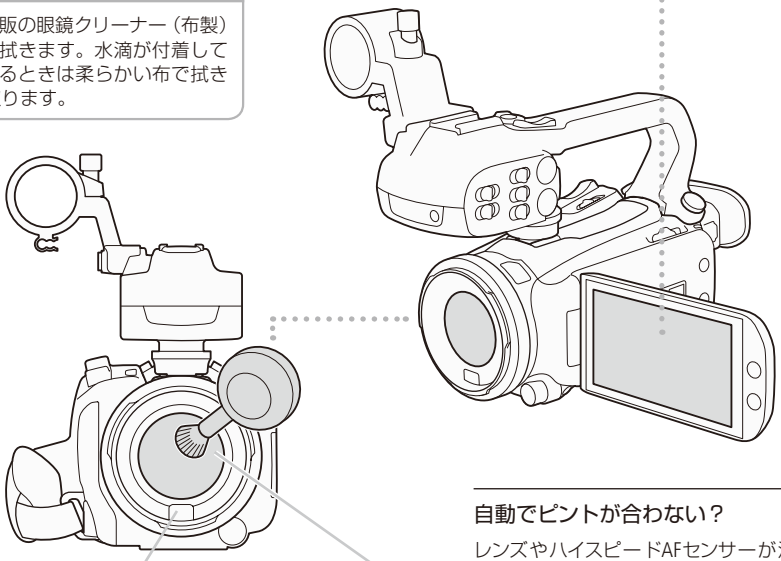
柔らかい布で拭いてください

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。



画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。



ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

レンズ／ビューファインダー

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）（AC100 ～ 240 V 50 ／ 60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を変圧器に接続しないでください。
故障する恐れがあります。

テレビで見る

本機は撮影した動画をNTSC方式で記録します。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. MENU（メニュー）→ をタッチする。

2. 上下にドラッグして、「エリア/サマータイム」をオレンジ色のバーに合わせ、オレンジ色の枠をタッチする。

3. をタッチする。

4. ▲/▼をタッチして、旅行先を選ぶ。

旅行先がサマータイムのとき

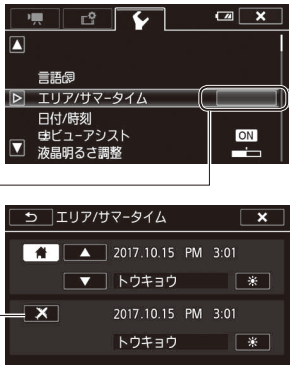
☀をタッチする。

5. ⮌をタッチする。

6. 上下にドラッグして、「日付/時刻」をタッチする。

7. 「日付／時刻を合わせる」（🕮 29）の操作2を行う。

8. ✕をタッチする。



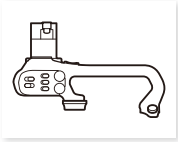
旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作3で、をタッチする。

2. ✕をタッチする。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。



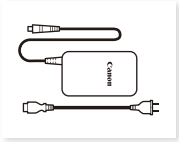
ハンドルユニット
HDU-1*1



バッテリー
BP-820*1 / BP-828



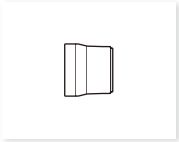
バッテリー
チャージャー *2
CG-800D



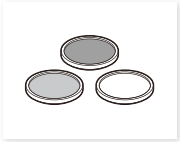
コンパクトパワー
アダプター
（ACアダプター）CA-570*1



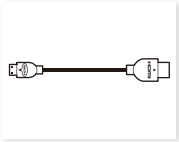
ワイドアタッチメント
WA-H58*3



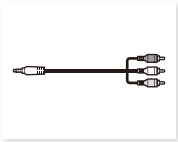
テレコンバーター
TL-H58*3,*4



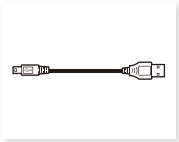
PROTECTフィルター
58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



ハイスピード
HDMIケーブル
HTC-100



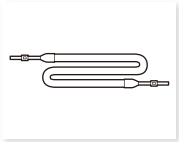
ステレオビデオケーブル
STV-250N



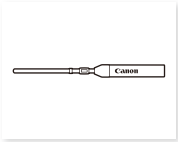
USBケーブル
IFC-400PCU



GPSレシーバー
GP-E2



ショルダーストラップ
SS-600/SS-650



リストストラップ
WS-20



ソフトキャリングケース
SC-2000

*1 本機の付属品です。
*2 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使用できません。
*3 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。
*4 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。

ご注意 **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

MEMO **インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて**

バッテリーパックBP-820/BP-828(別売)は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャー CG-800D（別売）でのみ使用／充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XA11 / XA15

システム		
記録方式	動画：	AVCHD規格 Ver.2.0準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：リニアPCM 2ch（16ビット、48 kHz）* ／ Dolby Digital 2ch MP4準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：MPEG-2 AAC-LC（2ch）
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 画像タイプ：JPEG
記録メディア	SD／SDHC／SDXCメモリーカード（2スロット）	
撮像素子	1/2.84型、CMOS 総画素数　約309万画素 有効画素　約291万画素	
液晶モニター	3.0型TFTワイドカラー液晶（約46万ドット、視野率100%）、 静電容量式タッチパネル	
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶（約156万ドット相当、視野率100%）	
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク、Att：20dB	
レンズ	f=3.67 – 73.4 mm　F=1.8 – 2.8、光学20倍ズーム、8枚羽根円形絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離： 約28.8 – 576 mm（手ブレ補正、ダイナミック設定時） 約26.8 – 576 mm（手ブレ補正、ダイナミック設定時以外）	
レンズ構成	10群12枚、非球面2面使用	
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF、ミディアムスピードAF選択時）、マニュアル調整可	
フィルター径	58 mm	
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm	
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、色温度、 セット1／セット2（白取り込み）	
最低被写体照度	0.1ルクス　（ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時） 1.2ルクス　（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）	
推奨被写体照度	100ルクス以上	
手ブレ補正機能	光学式	

* メニューの「録画モード」で「28 Mbps LPCM」または「24 Mbps LPCM」を設定しているときのみ。

システム	
動画サイズ	AVCHD 1920 x 1080：28 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1440 x 1080：5 Mbps MP4 1920 x 1080：35 Mbps、24 Mbps、17 Mbps 1280 x 720：8 Mbps、4 Mbps 640 x 360：3 Mbps
静止画サイズ	1920 x 1080：AVCHD/MP4(35 Mbps / 24 Mbps / 17 Mbps)記録時 1280 x 720： MP4(8 Mbps / 4 Mbps)記録時 640 x 360： MP4(3 Mbps)記録時 1920 x 1080：あとからフォト

入・出力端子	
XAVC S HD/SD-SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 HD-SDI(SMPTE 292M準拠)： 映像（1080i/720P)、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC） SD-SDI(SMPTE 259M準拠)： 映像（480i)、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC）
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB（出力のみ）
AV OUT端子	Φ3.5 mm 4極ミニジャック、1 Vp-p ／ 75 Ω −10 dBv(47 kΩ負荷時）／ 3 kΩ以下
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック（不平衡)、 感度（MIC時)： −65dBV(ボリュームオート、フルスケール−12dB）／ 5KΩ 以上 感度（LINE時)：−30dBV(ボリュームオート、フルスケール−12dB）／ 5KΩ 以上 Att：20dB
ハンドルユニットHDU-1	INPUT端子：INPUT(3ピンジャック)（①シールド、②ホット、③コールド)、 2系統、平衡 感度（MIC時)： −60 dBu(マニュアルボリュームセンター、 フルスケール−18 dB）／ 600 Ω 感度（LINE時)：+4 dBu(マニュアルボリュームセンター、 フルスケール−18 dB）／ 10kΩ Att：20dB
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック −29dBV(16Ω負荷、ボリューム最大）／ 100 Ω
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニジャック（入力のみ）

電源その他	
電源電圧	DC7.4 V(バッテリーパック)、DC8.4 V(DC IN)
消費電力	XA11 約4.7W　XA15 約4.8W 液晶モニターを使用し、17 Mbps、AF合焦、明るさ「通常」のとき
動作温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約109×84×182 mm　（本体のみ） 約115×84×231 mm　（レンズフード装着時） 約131×180×231 mm（レンズフード、ハンドルユニットHDU-1装着時） いずれもグリップベルトを含まない
撮影時総質量	XA11 約1135 g　　XA15 約1140 g （レンズフード、ハンドルユニットHDU-1、BP-820、メモリーカード（1枚）を含む）
本体質量	XA11 約745 g　　XA15 約750 g （グリップベルトを含む）

付属品

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）CA-570	
電源	AC 100 V－240 V、50 ／ 60 Hz
出力／消費電力	公称DC8.4 V、1.5 A/29 VA（100 V） ～ 39 VA（240 V）
使用温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90 mm
本体質量	約135 g

バッテリーパック BP-820	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	約0 ℃ ～＋40 ℃
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	1780 mAh
定格（最小）容量	13 Wh / 1700 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×39.4×40.2 mm
質量	約85g

動画の記録可能時間の目安

AVCHD形式

容量 / 録画モード	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
28 Mbps LPCM (59.94P) 28 Mbps (59.94P)	35分	1時間15分	2時間30分	5時間05分	10時間10分
24 Mbps LPCM 24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
5 Mbps	3時間	6時間05分	12時間15分	24時間30分	49時間

MP4形式

容量 / 録画モード	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
35 Mbps (59.94P)	30分	1時間	2時間	4時間	8時間
24 Mbps	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分	11時間55分
17 Mbps	1時間	2時間05分	4時間10分	8時間20分	16時間45分
8 Mbps (59.94P)	2時間10分	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分
4 Mbps	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分	69時間30分
3 Mbps	5時間40分	11時間25分	22時間55分	45時間55分	91時間55分

- 1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを越えると自動的に停止します。
- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable BitRate)方式を採用しているためです。

■ 静止画の記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により記録できる枚数は異なります。

動画形式	録画モード	静止画サイズ	記録可能枚数 (1 GBのカード)
AVCHD	すべて	1920x1080	660枚
MP4	35 Mbps, 24 Mbps, 17 Mbps	1920x1080	660枚
	8 Mbps、4 Mbps	1280x720	1490枚
	3 Mbps	640x360	5800枚

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

バッテリーパック	充電時間	
	コンパクトパワーアダプター CA-570(付属)	バッテリーチャージャー CG-800D(別売)*
BP-820	約4時間35分	約3時間10分
BP-828	約6時間45分	約4時間20分

* バッテリーチャージャー CG-800Dで充電する場合、10 ℃ ～ 30 ℃(推奨充電温度)の場所で充電することをおすすめします。推奨充電温度を超えると、安全のため充電時間が大幅に長くなることがあります。バッテリーや周囲の温度が約5 ℃ ～ 35 ℃(使用温度)の範囲外のときは、充電できません。

■ バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリー BP-820と別売のBP-828をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

XA11 AVCHD形式

録画モード	使用時間	BP-820	BP-828
28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	2時間25分	3時間35分
	実撮影時間	1時間30分	2時間15分
	再生時間	4時間	5時間55分
17 Mbps	連続撮影時間	2時間35分	3時間50分
	実撮影時間	1時間35分	2時間25分
	再生時間	4時間10分	6時間15分
5 Mbps	連続撮影時間	2時間35分	3時間55分
	実撮影時間	1時間35分	2時間25分
	再生時間	4時間15分	6時間25分

XA11 MP4形式

録画モード	使用時間	BP-820	BP-828
35 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	2時間25分	3時間35分
	実撮影時間	1時間30分	2時間10分
	再生時間	3時間55分	5時間55分
17 Mbps	連続撮影時間	2時間45分	4時間10分
	実撮影時間	1時間45分	2時間40分
	再生時間	4時間15分	6時間20分
3 Mbps	連続撮影時間	2時間55分	4時間30分
	実撮影時間	1時間45分	2時間45分
	再生時間	4時間30分	6時間45分

XA15 AVCHD形式

録画モード	使用時間	BP-820	BP-828
28 Mbps LPCM (59.94P) / 28 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	2時間20分	3時間30分
	実撮影時間	1時間25分	2時間15分
	再生時間	3時間50分	5時間45分
17 Mbps	連続撮影時間	2時間30分	3時間45分
	実撮影時間	1時間35分	2時間25分
	再生時間	4時間	6時間
5 Mbps	連続撮影時間	2時間35分	3時間50分
	実撮影時間	1時間30分	2時間25分
	再生時間	4時間10分	6時間10分

XA15 MP4形式

録画モード	使用時間	BP-820	BP-828
35 Mbps (59.94P)	連続撮影時間	2時間20分	3時間30分
	実撮影時間	1時間25分	2時間10分
	再生時間	3時間50分	5時間45分
17 Mbps	連続撮影時間	2時間45分	4時間5分
	実撮影時間	1時間40分	2時間35分
	再生時間	4時間5分	6時間10分
3 Mbps	連続撮影時間	2時間50分	4時間20分
	実撮影時間	1時間40分	2時間45分
	再生時間	4時間20分	6時間30分

* 液晶モニターを使用した場合の目安です。
* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2 ～ 3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

本機は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
本機は、Exif 2.3（愛称「Exif Print」）に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

索引

ア

アサインボタン……110
あとからフォト……119
安全上のご注意……174
インデックス画面……116
打上げ花火（シーンモード）……75
液晶モニター……13, 24
エリア……182
オーディオシーン……90
オートスローシャッター……151
おしらせ音……157
お手入れ……180
音声出力チャンネル……130
音声を記録する……82
音量
：再生時……118
：撮影時……86, 92

カ

カードを入れる……33
海外で使う……181
外部マイク……84
外部モニター……126
画質……43
カメラモード切り換えスイッチ……14, 26
画面の見かた……162
カラーバー &テストトーン……99
強制逆光補正……72
記録コマンド……42
記録先……35
記録時間……188
グリップズーム……57
グリップベルト……25
結合……143
結露……179
高輝度優先（ルック）……77
こだわりオート……40
コピー
：静止画……141
：動画……140
コンバージョンレンズ……150
コンパクトパワーアダプター……10, 18

サ

再生する
：静止画……132
：動画……117
撮影する
：動画……38
撮影モード……66, 75
サマータイム……182
三脚……176
シーンモード……75
シーンを消す……120
シーンを分割する……122
自動逆光補正……150
視度調整……23
シネマルックフィルター……48
しぼり……66
シャッタースピード……66
充電……18
充電時間……189
修理対応……197
ジョイスティック……28
消去する
：静止画……134
：動画……120
初期化する……34
ショルダーストラップ……25
シリアル番号（機番）……13
ズーム……57

ズームスピードレベル……58
ストラップ……25
スノー（シーンモード）……75
スポーツ（シーンモード）……75
スポットライト（シーンモード）……75
スロー &ファストモーション記録……47
赤外撮影……104
赤外撮影色……104
ゼブラパターン……69
ソフトズームコントロール……62

タ

タイムコード……79
タッチ（操作）……27
タッチパネル……27
ダビングする……145
タリーランプ……15
データコード……103, 153
デジタルズーム……150
デジタルテレコン……63
テストトーン……100
手ブレ補正……64
テレビタイプ……153
電源を入れる……26
動画形式……36
同時記録……45
ドラッグ（操作）……27
トラブルシューティング……165
取り扱い上のご注意……176
トリミング……123

ナ

内蔵スピーカー……116
内蔵マイク……14, 82

ハ

ハイスピードAF……53
ハイスピードズーム……59
倍速……47
ハイライトAE……71
バッテリーの残量表示……20
バッテリーの使用時間……190
バッテリーの使用時間（目安）……190
パワードIS……64
ハンドルズーム……60
ハンドルユニット……15, 21
ピーキング……52
ビーチ（シーンモード）……75
ピクチャー設定……77
日付・時刻……29
ビデオスナップ……101
ビューアシスト……77
ビューファインダー……23
ファイル番号……154
ファンタム電源……85
フェイスオンリー AF……55
フェイスキャッチ&追尾……55
フェライトコア……18
フォーカスアシスト……151
フォーカス／ズームリング……11, 50, 57
フォーカス（ピント合わせ）……50
フォーカスプリセット……51
フリッカー低減……152
プレREC……102
フレームレート……46
分割……122
ヘッドホン……98
ポートレート（シーンモード）……75
保存する……138
ホワイトバランス……73

マ

マーカー ·····152
マイクホルダー ·····84
マニュアルフォーカス ·····50
マニュアル露出 ·····68
マルチシーンIS ·····41
メッセージ ·····170
メニュー一覧 ·····150
メニューデータ ·····112
メニューを設定する ·····30
メモリー残量 ·····154
モニターディレイ ·····129

ヤ

夜景（シーンモード） ·····75
ユーザービット ·····81
優先WB ·····156
夕焼け（シーンモード） ·····75

ラ

リレー記録 ·····45
ルック ·····77
レックレビュー ·····42
レベルメーター ·····92
レンズバリア ·····38
レンズフード ·····22
ローライト（シーンモード） ·····75
録音レベル ·····86, 88
録画モード ·····43
露出 ·····68

その他

AF（オートフォーカス） ·····53
AGCリミット ·····65
AUTO（オート）モード ·····26
AVCHD形式 ·····43
AV OUT端子 ·····126
Av（絞り優先AE） ·····66
CAMERAモード ·····26
CINEMA（シネマ）モード ·····26
CUSTOMダイヤル＆ボタン ·····108
Data Import Utility ·····138
DC IN端子 ·····18
FUNC.ボタン ·····28
FUNC.メニュー ·····148
GPSレシーバー ·····105
HDMI OUT端子 ·····128
HD/SD-SDI端子 XA15 ·····127
INPUT端子 ·····15, 82
MEDIAモード ·····26
MF（マニュアルフォーカス） ·····50
MIC（マイク）端子 ·····82
MP4形式 ·····43
MP4変換 ·····143
M（マニュアル）モード ·····26
NDフィルター ·····152
P（プログラムAE） ·····66
SCN（シーン）モード ·····75
SD ／ SDHC ／ SDXCメモリーカード ·····32
Slow & Fastモーション ·····47
Tv（シャッター優先AE） ·····66
USB端子 ·····138
Wide DR（ルック） ·····77
🎧（ヘッドホン）端子 ·····98

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

アクセサリーは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、お送りください。

修理のお問いあわせ・お申し込み

- Webでのお申し込み：引取修理サービス
  canon.jp/repair
- 電話でのお申し込み：050-555-99077

引取修理サービス

■本書の記載内容は2020年5月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。
最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon
キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南 2-16-6

Li-ion
リチウムイオン電池の
リサイクルにご協力ください。

PUB.DIJ-0468-000A
© CANON INC. 2020